

# 令和3年度 事業報告書

社会福祉法人マザアス



高齢者福祉総合施設 マザアス東久留米

高齢者福祉総合施設 マザアス日 野

高齢者福祉総合施設 マザアス新 宿

## 目次

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| I. 理事長報告.....                    | 5  |
| II. 現況報告（令和4年3月31日現在）.....       | 6  |
| 1 基本情報.....                      | 6  |
| 2. 社会福祉事業.....                   | 6  |
| (1) (老人福祉) 第1種社会福祉事業（3施設）.....   | 6  |
| (2) (老人福祉) 第2種社会福祉事業（15事業所）..... | 7  |
| (3) (障害福祉) 第2種社会福祉事業（2事業所）.....  | 8  |
| 3. 公益事業（8事業所）.....               | 8  |
| 4. 組織.....                       | 9  |
| (1) 理事（定員7 現員7）、監事（定員2 現員2）..... | 9  |
| (2) 評議員（定員8名 現員8名）.....          | 9  |
| (3) 施設長.....                     | 10 |
| (4) 職員数.....                     | 10 |
| (5) 外国人雇用状況.....                 | 10 |
| (6) 職員平均年齢/平均勤続年数.....           | 10 |
| (7) 資格取得人数 ※重複含む.....            | 11 |
| (8) 理事会.....                     | 11 |
| (9) 評議員会.....                    | 12 |
| (10) 監事監査.....                   | 12 |
| 5. 資産管理.....                     | 13 |
| 6. その他.....                      | 13 |
| (1) 情報公開.....                    | 13 |
| (2) 外部審査等.....                   | 13 |
| (3) 第三者評価.....                   | 14 |
| (4) 苦情解決件数〔第三者委員会提出件数〕.....      | 14 |
| (5) ヒヤリハット件数.....                | 14 |
| (6) 事故件数.....                    | 15 |
| (7) 行政に報告した事故件数（感染症含む）.....      | 15 |
| (8) 実習生の受け入れ（年間延べ受け入れ人数）.....    | 15 |
| (9) ボランティア活動（年間延べ活動人数）.....      | 15 |
| (10) 外部研修（参加延べ人数）.....           | 16 |
| (11) 内部研修（実施回数）.....             | 16 |
| (12) 海外研修（人数）.....               | 16 |
| (13) 外部発表.....                   | 16 |

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| (14) 外部団体活動（理事長/施設長） .....               | 17 |
| 7. コンプライアンス委員会 .....                     | 18 |
| (1) 令和4年1月7日 .....                       | 18 |
| III. 令和3年度 経営状況 .....                    | 19 |
| 1. 離職率 .....                             | 19 |
| 2. バイタルデータ（年度比較） .....                   | 20 |
| 3. 法人単位の資金収支の状況（資金収支計算書） .....           | 21 |
| 4. 法人単位の事業活動の状況（事業活動計算書） .....           | 22 |
| 5. 法人単位の資産等の状況（貸借対照表） .....              | 23 |
| 6. 積立金の状況 .....                          | 23 |
| 7. 関連当事者との取引の内容 .....                    | 23 |
| 8. 準拠している会計基準 .....                      | 24 |
| 9. 地域福祉ニーズへの対応状況 .....                   | 24 |
| IV 社会福祉法人マザアス 法人本部事務局 .....              | 25 |
| 1. 令和3年度総括 .....                         | 25 |
| V 高齢者福祉総合施設 マザアス東久留米 .....               | 26 |
| 1. 令和3年度総括 .....                         | 26 |
| (1) ICTの活用のためのインフラ整備 .....               | 26 |
| (2) 就労継続支援B型事業の安定的経営 .....               | 27 |
| (3) 在留資格「介護」で就労を目指す留学生への支援の継続 .....      | 27 |
| 2. 特別養護老人ホーム マザアス東久留米／短期入所マザアス東久留米 ..... | 29 |
| 3. デイサービスセンター マザアス氷川台 .....              | 29 |
| 4. 認知症対応型デイサービス湧泉の郷 .....                | 30 |
| 5. デイサービスセンター マザアス大門 .....               | 30 |
| 6. ヘルパーステーション マザアス氷川台 .....              | 31 |
| 7. 居宅介護支援事業所 マザアス氷川台 .....               | 32 |
| 8. 東久留米市東部地域包括支援センター .....               | 32 |
| 9. 就労継続支援B型事業所 .....                     | 33 |
| 10. グループホームひかわだい .....                   | 34 |
| 11. グループホームおがわ .....                     | 34 |
| 12. 地域公益活動 .....                         | 35 |
| VI 高齢者福祉総合施設 マザアス日野 .....                | 36 |
| 1. 令和3年度総括 .....                         | 36 |
| 2. 特別養護老人ホーム マザアス日野 .....                | 42 |
| 3. 短期入所生活介護 マザアス日野 .....                 | 42 |
| 4. デイサービスセンター マザアス多摩川苑 .....             | 43 |
| 5. ヘルパーステーション マザアス多摩川苑 .....             | 44 |

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 6. 居宅介護支援事業所 多摩川苑 .....         | 44 |
| 7. 日野市地域包括支援センター 多摩川苑 .....     | 45 |
| 8. グループホーム たまだいら .....          | 46 |
| 9. 小規模多機能ホーム みなみだいら .....       | 47 |
| 10. 小規模多機能ホーム さかえまち .....       | 48 |
| 11. 東京都多摩若年性認知症総合支援センター .....   | 49 |
| 12. 地域公益活動 .....                | 50 |
| (1) 配食サービス .....                | 50 |
| (2) あったカフェ (認知症カフェ) .....       | 51 |
| VII 地域密着型複合施設 マザアス新宿 .....      | 52 |
| 1. 令和3年度総括 .....                | 52 |
| 2. 地域密着型特別養護老人ホーム／ショートステイ ..... | 53 |
| 3. 小規模多機能ホーム さくら .....          | 55 |
| 4. グループホーム つつじ .....            | 56 |



## I. 理事長報告

令和3年度もコロナウイルス、特に新たなウイルスであるオミクロン株の対策にも追われ、介護業界の現場では混乱した一年であった。

私共の事業所でも二か所でクラスターとなったが、職員の適切な対応と行政や地域の医療関係者の協力を得て、コロナによる死亡者もなく経過できたことは感謝である。

未だ終了したわけではなく、常に気を許すことはできない状態が続いているので、心配は尽きない。

3年ごとに介護報酬が改正されることになっているが、令和3年度は0.7%のプラス改定となった。この改正に伴い東久留米市の級地区分が5級地から3級地に変更され日野事業所と同じ級地になった。

これに加えて、介護保険制度発足以来の課題であった。約20年間変更への活動が続けてきた経緯がある。この度は行政、介護保険事業者が一体となって要請活動した結果、結局は政治力によって2ポイント昇級ということで決着し、介護報酬の増額が期待できるようになったことは特筆すべきことであろう。コロナによる利用制限や職員と家族への影響があったにも関わらず、法人の決算でサービス活動増減差額6,160万円となったことは喜ぶべきことであった。

高齢者数がピークになるのが2040年には介護職員69万人が不足すると厚生労働省は推計している。その時には東京都は約8万人不足するとみられている。

求人難は今も進行しており、どうしても有料職業紹介事業者に依頼しなければ解決しない状況にあるようだ。業者に支払った紹介料は全体で1,270万円（全国、1法人あたり平均340万円）であった。職員の待遇改善する為に国も努力しているが、職員増につながるような改善には追いついていない。

不足をカバーする一助と将来を考慮して外国人労働者を受け入れることに努力してきた。

都内のある法人では、職員の20%を外国人にするそうだが、私共の法人でもこの1年で急激に増えてきた。現状はEPAによる3年越しで実現したインドネシア人2名、フィリピン等からの留学生5名を含む常勤11名、非常勤13名、全体で24名、全職員の5%が外国からの職員によって、業務が遂行されている。この中には介護福祉士1名、看護師1名の有資格者がいる。以前から数人の外国人が職場にいたが、この1年で急に増員された現実、外国人採用元年と位置づけたい1年であった。

2021年学研の「高校生の日常生活・学習に関する調査」の「高校生がなりたい職業」高校の3年生女子が1位会社員に次いで「2位 福祉の仕事」全体でも福祉の仕事は8位となっている事は歓迎すべき傾向なので、大切にしていきたいものである。

## Ⅱ.現況報告（令和４年３月３１日現在）

### １ 基本情報

|            |                                                             |
|------------|-------------------------------------------------------------|
| 所轄庁        | 東京都                                                         |
| 法人名        | 社会福祉法人 マザアス                                                 |
| 主たる事務所の所在地 | 〒203-0004 東京都東久留米市氷川台二丁目５番７号                                |
| 電話番号       | 042-477-7261                                                |
| FAX 番号     | 042-477-7500                                                |
| ホームページアドレス | <a href="https://www.moth.or.jp">https://www.moth.or.jp</a> |
| メールアドレス    | office@moth.or.jp                                           |
| 設立認可年月日    | 平成６年１０月１８日                                                  |
| 設立登記年月日    | 平成６年１０月１９日                                                  |
| 代表者氏名      | 高原 敏夫                                                       |
| 就任年月日      | 平成 26 年 10 月 20 日                                           |

### ２.社会福祉事業

#### （１）（老人福祉）第１種社会福祉事業（３施設）

| 施設名・事業所名（事業所番号）                   | 定員              |
|-----------------------------------|-----------------|
| 所在地                               | 事業開始年月日         |
| 特別養護老人ホーム マザアス東久留米（1374800074）    | 80              |
| 東京都東久留米市氷川台二丁目５番７号                | 平成 7 年 5 月 8 日  |
| 特別養護老人ホーム マザアス日野（1373500139）      | 106             |
| 東京都日野市万願寺一丁目１６番１号                 | 平成 11 年 5 月 1 日 |
| 地域密着型特別養護老人ホーム マザアス新宿（1390400107） | 29              |
| 東京都新宿区新宿七丁目３番３１号                  | 平成 22 年 5 月 1 日 |

(2)(老人福祉) 第2種社会福祉事業 (15事業所)

| 施設名・事業所名 (事業所番号)                 | 定員                     |
|----------------------------------|------------------------|
| 所在地                              | 事業開始年月日                |
| デイサービスセンター マザアス氷川台 (1374800181)  | (介護・予防) 39<br>(認知症) 12 |
| 東京都東久留米市氷川台二丁目5番7号               | 平成7年7月1日               |
| デイサービスセンター マザアス多摩川苑 (1373500287) | (介護・予防) 45<br>(認知症) 12 |
| 東京都日野市万願寺一丁目16番1号                | 平成11年5月1日              |
| デイサービスセンター マザアス大門 (1374800322)   | (介護) 10<br>(予防) ①9 ②9  |
| 東京都東久留米市大門町二丁目10番5号              | 平成11年7月1日              |
| ショートステイ マザアス東久留米 (1374800207)    | 10                     |
| 東京都東久留米市氷川台二丁目5番7号               | 平成7年7月1日               |
| ショートステイ マザアス日野 (1373500139)      | 14                     |
| 東京都日野市万願寺一丁目16番1号                | 平成11年6月1日              |
| ショートステイ マザアス新宿 (1374801106)      | 3                      |
| 東京都新宿区新宿七丁目3番31号                 | 平成22年5月1日              |
| ヘルパーステーション マザアス氷川台 (1374800199)  |                        |
| 東京都東久留米市氷川台二丁目5番7号               | 平成8年7月1日               |
| ヘルパーステーション マザアス多摩川苑 (1373500527) |                        |
| 東京都日野市万願寺一丁目16番1号                | 平成12年7月1日              |
| グループホームひかわだい (1374800553)        | 9                      |
| 東京都東久留米市氷川台二丁目6番6号               | 平成14年3月1日              |
| グループホームたまだいら (1373501327)        | 9                      |
| 東京都日野市多摩平二丁目13番14号               | 平成17年9月1日              |
| グループホームおがわ (1394300014)          | 18                     |
| 東京都小平市小川一丁目113番8号                | 平成18年7月1日              |
| グループホームつつじ (1390400123)          | 18                     |
| 東京都新宿区新宿七丁目3番31号                 | 平成22年5月1日              |
| 小規模多機能ホーム みなみだいら (1393500036)    | (登録) 29                |
| 東京都日野市南平三丁目10番2号                 | 平成20年9月1日              |
| 小規模多機能ホームさくら (1390400115)        | (登録) 29                |
| 東京都新宿区新宿七丁目3番31号                 | 平成22年5月1日              |



|                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 小規模多機能ホームさかえまち (1393500069) | (登録) 29         |
| 東京都日野市栄町二丁目 17 番 1 号        | 平成 23 年 5 月 1 日 |

### (3) (障害福祉) 第 2 種社会福祉事業 (2 事業所)

| 施設名・事業所名 (事業所番号)                 | 定員               |
|----------------------------------|------------------|
| 所在地                              | 事業開始年月日          |
| ヘルパーステーション マザアス多摩川苑 (1313500678) |                  |
| 東京都日野市万願寺一丁目 16 番 1 号            | 平成 23 年 11 月 1 日 |
| 就労継続支援 B 型事業所マザアス (1314400639)   |                  |
| 東京都清瀬市松山一丁目 4 番 20 号 203         | 平成 29 年 7 月 1 日  |

## 3. 公益事業 (8 事業所)

| 施設名・事業所名 (事業所番号)                         | 定員                |
|------------------------------------------|-------------------|
| 所在地                                      | 事業開始年月日           |
| 居宅介護支援事業所 多摩川苑 (1373500030)              |                   |
| 東京都日野市万願寺一丁目 16 番 1 号                    | 平成 12 年 4 月 1 日   |
| 居宅介護支援事業所 マザアス氷川台 (1374800504)           |                   |
| 東京都東久留米市氷川台二丁目 5 番 7 号                   | 平成 13 年 6 月 1 日   |
| 東久留米市東部地域包括支援センター・本部 (1304800012)        |                   |
| 東京都東久留米市大門町二丁目 10 番 5 号                  | 平成 18 年 4 月 1 日   |
| 東京都東久留米市氷川台二丁目 5 番 7 号グループホームひかわだい内 (本部) |                   |
| 日野市地域包括支援センター 多摩川苑 (1303500092)          |                   |
| 東京都日野市万願寺一丁目 16 番 1 号                    | 平成 21 年 4 月 1 日   |
| 多摩若年性認知症総合支援センター                         |                   |
| 東京都日野市大坂上一丁目 30 番 18 号                   | 平成 28 年 11 月 10 日 |
| 介護人材の育成事業 法人本部                           |                   |
| 東京都東久留米市氷川台二丁目 5 番 7 号                   | 平成 30 年 9 月 7 日   |
| 高齢者食事配達サービス事業 日野                         |                   |
| 東京都日野市万願寺一丁目 16 番 1 号                    |                   |
| 高齢者食事配達サービス事業 大門                         |                   |
| 東京都東久留米市大門町二丁目 10 番 5 号                  |                   |

## 4. 組織

### (1) 理事（定員 7 現員 7）、監事（定員 2 現員 2）

| 役職名 | 氏 名   | 役員選出区分            | 任 期    | 理事会出席<br>回数/6 |
|-----|-------|-------------------|--------|---------------|
| 理事長 | 高原 敏夫 | 社会福祉施設及び福祉関係団体    | ～R5. 6 | 6             |
| 理事  | 衣川 輝夫 | 社会福祉施設及び福祉関係団体    | ～R5. 6 | 6             |
| 理事  | 千先 勉  | 社会福祉活動に協力する個人・団体  | ～R5. 6 | 6             |
| 理事  | 松澤 雅子 | 社会福祉施設及び福祉関係団体    | ～R5. 6 | 6             |
| 理事  | 古谷 晋  | 社会福祉施設及び福祉関係団体    | ～R5. 6 | 6             |
| 理事  | 石原 正弘 | 社会福祉活動に協力する個人・団体  | ～R5. 6 | 6             |
| 理事  | 早坂 徹  | 社会福祉活動に協力する個人・団体  | ～R5. 6 | 4             |
| 監事  | 吉田 剛  | 財務管理について識見を有する者   | ～R5. 6 | 6             |
| 監事  | 我謝 悟  | 社会福祉事業について識見を有する者 | ～R5. 6 | 6             |

### (2) 評議員（定員 8 名 現員 8 名）

| 役職名 | 氏名     | 役員選出区分           | 任期          | 評議員会<br>出席回数/1 |
|-----|--------|------------------|-------------|----------------|
| 評議員 | 児玉 桂子  | 学識経験者            | R3. 6～R7. 6 | 1              |
| 評議員 | 上田 健   | 地域の福祉関係者         | R3. 6～R7. 6 | 1              |
| 評議員 | 古賀 誉章  | 学識経験者            | R3. 6～R7. 6 | 1              |
| 評議員 | 細谷 祥子  | 社会福祉活動に協力する個人・団体 | R3. 6～R7. 6 | 0              |
| 評議員 | 鈴木 純子  | 地域の福祉関係者         | R3. 6～R7. 6 | 0              |
| 評議員 | 村本 英那  | 地域の福祉関係者         | R3. 6～R7. 6 | 1              |
| 評議員 | 町田 秀三郎 | 社会福祉活動に協力する個人・団体 | R3. 6～R7. 6 | 1              |
| 評議員 | 砂長谷和子  | 社会福祉活動に協力する個人・団体 | R3. 6～R7. 6 | 1              |

### (3) 施設長

| 施設名               | 氏名    | 就任年月日   |
|-------------------|-------|---------|
| 高齢者福祉総合施設マザース東久留米 | 松澤 雅子 | H25.6.1 |
| 高齢者福祉総合施設マザース日野   | 古谷 晋  | H28.7.1 |
| 地域密着型複合施設マザース新宿   | 衣川 輝夫 | R3.3.1  |

### (4) 職員数

|      | 常勤/専従   |       | 非常勤   |       |       |       | 合計    |       |
|------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      |         |       | 人員数   |       | 換算数   |       | 換算数   |       |
|      | R4. 3   | R3. 3 | R4. 3 | R3. 3 | R4. 3 | R3. 3 | R4. 3 | R3. 3 |
| 法人本部 | 2       | 1     | 0     | 1     | 0     | 0.6   | 1.8   | 1.6   |
| 東久留米 | 73      | 76    | 124   | 133   | 62.9  | 66.2  | 136   | 142   |
| 日 野  | 116     | 110   | 94    | 80    | 33.3  | 32.9  | 149.3 | 143   |
| 新 宿  | 34      | 41    | 41    | 37    | 20.5  | 17.3  | 54.5  | 58.3  |
| 合 計  | 225     | 228   | 259   | 251   | 116.7 | 117   | 341.6 | 344.9 |
|      | (職員総数 ) |       |       |       |       |       |       |       |

### (5) 外国人雇用状況

総数 24 名 (EPA2 名、留学生 7 名を含む)

### (6) 職員平均年齢/平均勤続年数

| 拠点名 (開設年度) | 平均年齢  |       | 平均勤続年数 |       |
|------------|-------|-------|--------|-------|
|            | R4. 3 | R3. 3 | R4. 3  | R3. 3 |
| 東久留米 (H7)  | 53.9  | 52.3  | 8.2    | 7.7   |
| 日 野 (H11)  | 43.9  | 44.2  | 8.5    | 8.7   |
| 新 宿 (H22)  | 48.8  | 44.2  | 5.2    | 4.7   |
| 法人全体       | 48.9  | 46.9  | 7.3    | 7.0   |



(7) 資格取得人数 ※重複含む

|      | 社会福祉士 |       | 介護福祉士 |       | 介護支援専門員 |       | 看護師   |       | 准看護師  |       |
|------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      | R4. 3 | R3. 3 | R4. 3 | R3. 3 | R4. 3   | R3. 3 | R4. 3 | R3. 3 | R4. 3 | R3. 3 |
| 東久留米 | 11    | 12    | 81    | 72    | 27      | 25    | 6     | 9     | 5     | 4     |
| 日 野  | 13    | 12    | 98    | 93    | 32      | 29    | 11    | 8     | 6     | 5     |
| 新 宿  | 5     | 6     | 27    | 29    | 10      | 11    | 8     | 8     | 0     | 0     |
| 合 計  | 29    | 30    | 206   | 194   | 69      | 65    | 25    | 25    | 11    | 9     |

(8) 理事会

| 開催年月日       | 出席者数<br>/7 | 監事<br>/2 | 決議事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------|------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| R03. 06. 07 | 7          | 2        | 第1号議案 令和2年度 事業報告書について<br>第2号議案 令和2年度 決算報告書について<br>第3号議案 社会福祉充実計画について<br>第4号議案 次期理事候補者の選定について<br>第5号議案 次期監事候補者の選定について<br>第6号議案 次期評議員候補者の推薦について<br>第7号議案 評議員選任解任委員会の招集について<br>第8号議案 6月賞与（一時金）について<br>第9号議案 役員等賠償責任保険の内容について<br>第10号議案 マザアス新宿における建設経費借入金に係る元利金の返済猶予の延長について<br>第11号議案 マザアス日野における大規模修繕事業への着手について |
| R03. 06. 25 | 6          | 2        | 第1号議案 理事長1名の選定について<br>第2号議案 業務執行理事（常務理事）1名の選定について<br>第3号議案 評議員選任解任委員会委員3名の選定について                                                                                                                                                                                                                            |
| R03. 09. 29 | 6          | 2        | 第1号議案 東久留米市地域密着型サービス事業者公募への応募について                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| R03. 11. 24 | 7          | 2        | 第1号議案 令和3年度12月賞与案について<br>第2号議案 令和3年度第1次補正予算案について<br>第3号議案 経理規程の改定について                                                                                                                                                                                                                                       |
| R03. 12. 21 | 7          | 2        | 第1号議案 マザアス日野大規模改修に関わる設備事業計画について<br>第2号議案 マザアス日野大規模改修に関わる資金計画について<br>第3号議案 マザアス日野大規模改修に関わる設計事務所選定                                                                                                                                                                                                            |

|           |   |   | 基準及び選定理由について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| R04.03.23 | 7 | 2 | 第1号議案 令和3年度 第2次補正予算案について<br>第2号議案 令和4年度 事業計画書案について<br>第3号議案 令和4年度 当初予算案について<br>第4号議案 マザアス日野 清掃業務委託契約について<br>第5号議案 マザアス東久留米 給食業務委託契約について<br>第6号議案 第三者委員の委嘱について<br>第7号議案 評議員選任解任委員会委員の欠員補充について<br>第8号議案 評議員の欠員補充について<br>第9号議案 評議員選任解任委員会の招集について<br>第10号議案 評議員会の招集について<br>第11号議案 マザアス新宿施設長の交代について<br>第12号議案 職員就業規則の改定について<br>第13号議案 有期契約職員就業規則の改定について<br>第14号議案 訪問介護員就業規則の改定について<br>第15号議案 服務規程制定の改定について<br>第16号議案 育児介護休業規程の改定について<br>第17号議案 休職規程の制定について<br>第18号議案 給与規程の改定について |

## (9) 評議員会

| 開催年月日     | 出席者数<br>/8 | 監事<br>/2 | 決議事項                                                                                         |
|-----------|------------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| R03.06.25 | 6          | 2        | 第1号議案 令和2年度事業報告について<br>第2号議案 令和2年度決算報告書について<br>第3号議案 社会福祉充実計画について<br>第4号議案 理事7名及び監事2名の選任について |

## (10) 監事監査

| 監査年月日    | 監査者          | 監査報告の有無 | 指摘事項 | 改善事項 |
|----------|--------------|---------|------|------|
| R4.年6月3日 | 吉田 剛<br>我謝 悟 | 有       | 無    | 無    |



## 5. 資産管理

| 不動産<br>の所有<br>状況 |    | 所在地                           | 面積<br>(㎡) | 評価額<br>(千円) | 担保提<br>供の有<br>無 |
|------------------|----|-------------------------------|-----------|-------------|-----------------|
| 基本財産             | 土地 | 東京都東久留米市冰川台 2 丁目 416 番地 1.3.4 | 5204.03   | 1,526,900   | 無               |
|                  |    | 東京都日野市万願寺一丁目 16 番地 1.2        | 3301.85   | 759,000     | 有               |
|                  |    | 東京都日野市万願寺一丁目 16 番地 3          | 1090.00   | 212,550     | 有               |
|                  | 建物 | 東京都東久留米市冰川台 2 丁目 416 番地 1     | 3939.09   | 579,079     | 無               |
|                  |    | 東京都日野市万願寺一丁目 16 番地 1          | 6356.93   | 717,024     | 有               |
|                  |    | 東京都新宿区新宿 7 丁目 3-31            | 2946.38   | 337,954     | 有               |
|                  | 合計 |                               |           | 4,132,507   |                 |

## 6. その他

### (1) 情報公開

- ・法人ホームページ、法人広報誌、玄関ロビーに設置等の方法により公開

### (2) 外部審査等

| 日付               | 項目                                                              | 備考       |
|------------------|-----------------------------------------------------------------|----------|
| 令和 3 年 10 月 13 日 | ヘルパーステーション<br>マザアス冰川台<br>東京都福祉保健局指導監査部実<br>地検査                  | 文書指摘事項なし |
| 令和 3 年 11 月 24 日 | 地域密着型複合施設マザアス新<br>宿<br>新宿区監査員による、補助金等<br>交付団体監査<br>(令和 2 年度補助金) | 指摘事項なし   |

### (3) 第三者評価

| 受審施設・事業所名          | R03 | R02 | R01 | H30 | H29 |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 特別養護老人ホーム マザアス東久留米 | ○   | ◎   | ○   | ○   | ◎   |
| 特別養護老人ホーム マザアス日野   | ○   | ○   | ◎   | ○   | ◎   |
| グループホームひかわだい       | —   | ○   | —   | ○   | ○   |
| グループホームおがわ         | ◎   | ○   | ◎   | —   | ○   |
| グループホームたまだいら       | ◎   | —   | ◎   | —   | ◎   |
| グループホームつつじ         | ◎   | —   | ◎   | ◎   | ◎   |
| 小規模多機能ホームみなみだいら    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |
| 小規模多機能ホームさかえまち     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |
| 小規模多機能ホームさくら       |     | —   | ○   | ○   | ○   |

◎：組織マネジメント+サービス項目、○：サービス項目、—：未受審緩和適用

### (4) 苦情解決件数〔第三者委員会提出件数〕

( ) は苦情受付件数

| 拠点名  | R03    | R02   | R01    | H30    | H29  |
|------|--------|-------|--------|--------|------|
| 東久留米 | 7(7)   | 2(2)  | 7(7)   | 5(5)   | 7(7) |
| 日 野  | 12(12) | 8(8)  | 11(11) | 16(13) | 4(6) |
| 新 宿  | 0 (0)  | 0 (0) | 2(2)   | 2(2)   | 1(1) |

### (5) ヒヤリハット件数

| 拠点名  | R03                             |
|------|---------------------------------|
| 東久留米 | 67 (特養・短期入所・通所・グループホーム)         |
| 日 野  | 322 (特養・短期入所・通所・グループホーム・小規模多機能) |
| 新 宿  | 38 (特養・短期入所、グループホーム、小規模多機能)     |

## (6) 事故件数

| 拠点名  | R03                             |
|------|---------------------------------|
| 東久留米 | 221 (特養・通所・居宅・訪問・グループホーム・就労)    |
| 日 野  | 387 (特養・短期入所・通所・グループホーム・小規模多機能) |
| 新 宿  | 86 (特養・短期入所、グループホーム、小規模多機能)     |

## (7) 行政に報告した事故件数 (感染症含む)

| 拠点名  | R03 | R02 | R01 | H30 | H29 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 東久留米 | 12  | 9   | 7   | 14  | 9   |
| 日 野  | 21  | 33  | 23  | 36  | 33  |
| 新 宿  | 0   | 0   | 4   | 5   | 5   |

## (8) 実習生の受け入れ (年間延べ受け入れ人数)

| 拠点名  | R03 | R02 | R01 | H30 | H29 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 東久留米 | 92  | 177 | 101 | 126 | 119 |
| 日 野  | 223 | 142 | 317 | 256 | 184 |
| 新 宿  | 17  | 15  | 239 | 283 | 290 |

## (9) ボランティア活動(年間延べ活動人数)

| 拠点名  | R03   | R02   | R01   | H30   | H29   |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 東久留米 | 938   | 999   | 2,279 | 2,283 | 2,473 |
| 日 野  | 1,303 | 2,239 | 3,641 | 3,894 | 1,597 |
| 新 宿  | 60    | 24    | 656   | 775   | 1176  |

(10) 外部研修（参加延べ人数）

| 拠点名  | R03 | R02 | R01 | H30 | H29 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 東久留米 | 16  | 13  | 68  | 91  | 96  |
| 日 野  | 25  | 47  | 155 | 184 | 154 |
| 新 宿  | 3   | 2   | 17  | 23  | 9   |

(11) 内部研修（実施回数）

| 拠点名  | R03 | R02 | R01 | H30 | H29 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 東久留米 | 56  | 61  | 17  | 13  | 13  |
| 日 野  | 25  | 31  | 31  | 27  | 24  |
| 新 宿  | 21  | 18  | 21  | 37  | 19  |

\*実践報告会含む（※個別事業ごとの研修や勉強会を除く）

(12) 海外研修（人数）

| 拠点名          | 韓 国 | アメリカ | 合 計 |
|--------------|-----|------|-----|
| 本部（理事・評議員含む） | 0   | 0    | 0   |
| 東久留米         | 0   | 0    | 0   |
| 日 野          | 0   | 0    | 0   |
| 新 宿          | 0   | 0    | 0   |
| 合 計          | 0   | 0    | 0   |

(13) 外部発表

| 拠点名  | 内容                                          |
|------|---------------------------------------------|
| 東久留米 | 「5 S を取り入れた環境改善」                            |
| 日野   | 「東京都障害者職業センター多摩支所との連携による<br>若年性認知症の再就職の可能性」 |
| 新宿   |                                             |



#### (14) 外部団体活動（理事長/施設長）

高原敏夫：理事長

|    |    |                          |
|----|----|--------------------------|
| 役員 | 1  | 財団法人愛敬福祉支援財団理事           |
|    | 2  | 社会福祉法人フロンティア福祉会理事        |
|    | 3  | 関東ブロック老人福祉協議会相談役         |
|    | 4  | 東京都社会福祉協議会高齢者施設福祉協議会顧問   |
|    | 5  | 東京都社会福祉協議会法人協議会副会長       |
|    | 6  | 社会福祉法人三育ライフ評議員           |
|    | 7  | 東京都社会福祉協議会総合企画委員会委員      |
|    | 8  | 東京都福祉施設経営指導事業連絡会議委員      |
|    | 9  | 東京都社会福祉法人専門家会議委員         |
|    | 10 | 全国老人福祉施設社会福祉協議会老施協総研運営委員 |
|    | 11 | 医療法人アドベンチスト会評議員          |

松澤雅子：東久留米施設長

|    |   |                          |
|----|---|--------------------------|
| 役員 | 1 | 東久留米市社会福祉協議会 評議員         |
|    | 2 | 清瀬市障害支援区分認定審査会委員         |
|    | 3 | 社会福祉法人 東京アフターケア協会評議員     |
|    | 4 | 東久留米市内社会福祉法人連絡会幹事        |
|    | 5 | 東京都高齢福祉施設協議会区市町村施設長代表者委員 |
|    | 6 | 東久留米市民生委員会推薦会委員          |
|    | 7 | 東久留米市養護老人ホーム入所判定委員       |

古谷晋：日野施設長

|    |   |                   |      |
|----|---|-------------------|------|
| 役員 | 1 | 日野市介護保険認定審査会      | 審査委員 |
|    | 2 | 日野市社会福祉協議会        | 評議員  |
|    | 3 | 日野市社会福祉法人ネットワーク   | 幹事   |
|    | 4 | 日野市介護保険運営協議会 等    | 委員   |
|    | 5 | 社会福祉法人 日野市民たんぽぽの会 | 評議員  |

衣川輝夫：新宿施設長

|    |   |                 |
|----|---|-----------------|
| 役員 | 1 | 医療法人アドベンチスト会評議員 |
|    | 2 | シャロームマザアス協同組合理事 |

## 7. コンプライアンス委員会

### (1) 令和4年1月7日

東久留米拠点におけるコロナウイルス感染緊急事態宣言中の飲酒等及び個人情報  
情報の漏洩事案について

### Ⅲ.令和3年度 経営状況

#### 1. 離職率

2020年度 事業報告書 離職率 案（介護労働安定センター流用）

|      |          | R3離職率 | R2離職率 | R1離職率 | H31離職率 |
|------|----------|-------|-------|-------|--------|
| 法人全体 | 全職員      | 10.8% | 14.8% | 14.0% | 13.5%  |
|      | うち介護職員のみ | 9.0%  | 14.0% | 12.4% | 13.2%  |
| 本部   | 全職員      | 0.0%  | 0.0%  | 25.0% | 0.0%   |
|      | 介護職員     | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%   |
| 東久留米 | 全職員      | 11.5% | 11.1% | 11.8% | 12.7%  |
|      | うち介護職員のみ | 6.2%  | 10.6% | 10.3% | 10.8%  |
| 日野   | 全職員      | 17.1% | 16.2% | 12.7% | 13.8%  |
|      | うち介護職員のみ | 12.9% | 12.9% | 11.5% | 14.3%  |
| 新宿   | 全職員      | 14.5% | 20.5% | 22.7% | 13.8%  |
|      | うち介護職員のみ | 17.0% | 24.2% | 16.0% | 17.4%  |

（参考）令和2年度 介護労働安定センター「介護労働実態調査」離職率14.9%（介護＋訪問介護）

\* データベース 人事給与ソフト「スマイル」

\* 離職率計算式＝2021年度離職者数/2020年度末在籍者数×100

（介護労働安全センターの計算式を流用）

\* 年度単位で集計

\* 介護職員の判定は所属部署による

\* 試用期間（3ヶ月）以内に退職した者は退職者に含めない

## 2. バイタルデータ（年度比較）

| サービス種別                                                      | 事業所名 | 定員  | R3    | R2    | R1    | H30   | H29   |
|-------------------------------------------------------------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 特別養護老人ホーム<br>月平均利用率(%)                                      | 東久留米 | 80  | 97.7  | 96.1  | 95.8  | 97.7  | 97.6  |
|                                                             | 日 野  | 106 | 93.4  | 94.7  | 96.2  | 93.2  | 96.2  |
|                                                             | 新 宿  | 29  | 94.2  | 94.6  | 97.4  | 98.7  | 97.7  |
| 特別養護老人ホーム<br>平均要介護度                                         | 東久留米 | 80  | 4.1   | 4.2   | 4.2   | 4.2   | 4.1   |
|                                                             | 日 野  | 106 | 4.1   | 4.1   | 4.1   | 4.1   | 4.1   |
|                                                             | 新 宿  | 29  | 4.3   | 4.5   | 4.6   | 4.6   | 4.6   |
| 短期入所生活介護<br>月平均利用率(%)                                       | 東久留米 | 10  | 81.3  | 82.7  | 72.4  | 79.6  | 82.2  |
|                                                             | 日 野  | 14  | 54.2  | 54.6  | 51.9  | 63.7  | 68.3  |
|                                                             | 新 宿  | 3   | 62.9  | 52.3  | 85.9  | 88.7  | 86.6  |
| 介護職員比率<br>介護職員1人あたりの利用者数<br>定員ベース                           | 東久留米 | —   | 2.15  | 2.17  | 2.14  | 2.14  | 2.12  |
|                                                             | 日 野  | —   | 2.18  | 2.30  | 2.36  | 2.44  | 2.28  |
|                                                             | 新 宿  | —   | 1.79  | 1.77  | 1.70  | 1.73  | 1.74  |
| 通所介護(予防含む)<br>係数を掛けた延べ利用者数                                  | 氷川台  | 39  | 27.1  | 26.4  | 25.8  | 514.3 | 605.9 |
|                                                             | 大門   | 18  | 14.3  | 13.8  | 15.4  | 241.3 | 259.6 |
|                                                             | 多摩川苑 | 45  | 24.5  | 23.6  | 27.2  | 776.7 | 872.9 |
| 通所介護(予防・総合)<br>実利用人数                                        | 氷川台  | —   | 6.5   | 4.8   | 2.5   | 0.3   | 13.1  |
|                                                             | 大門   | —   | 22.0  | 19.9  | 28.5  | 39.8  | 39.6  |
|                                                             | 多摩川苑 | —   | 11.5  | 17.7  | 28.6  | 28.1  | 25.4  |
| 認知症対応型通所介護<br>月間平均利用人数                                      | 氷川台  | 12  | 6.0   | 6.1   | 7.6   | 6.7   | 4.7   |
|                                                             | 多摩川苑 | 12  | 4.6   | 4.3   | 4.3   | 4.9   | 6.3   |
| 配食サービス(自費含)<br>日平均配食数(食)                                    | 大門   | —   | 12.6  | 15.9  | 20.3  | 22.7  | 26.5  |
|                                                             | 多摩川苑 | —   | 54.8  | 57.0  | 58.0  | 56.3  | 54.0  |
| 訪問介護サービス<br>上段:(介護)のみ(自費含)<br>中段:(予防・総合)のみ<br>下段:(障害+市施策)のみ | 氷川台  | —   | 521.1 | 542.2 | 572.7 | 618.0 | 601.0 |
|                                                             |      | —   | 188.8 | 191.4 | 182.4 | 203.3 | 184.8 |
|                                                             | 多摩川苑 | —   | 234.7 | 240.0 | 243.3 | 265.7 | 262.4 |
|                                                             |      | —   | 152.7 | 151.2 | 117.3 | 112.6 | 137.0 |
|                                                             |      | —   | 10.6  | 14.1  | 12.0  | 18.2  | 16.8  |
| 居宅及び地域包括<br>要介護認定調査件数(件)                                    | 氷川台  | —   | 0.5   | 1.0   | 3.3   | 2.3   | 3.8   |
|                                                             | 日野包括 | —   | 3.0   | 2.8   | 5.2   | 6.0   | 3.6   |
|                                                             | 多摩川苑 | —   | 3.3   | 3.4   | 7.3   | 6.5   | 7.3   |
| 居宅介護支援<br>給付管理者数(件)                                         | 氷川台  | —   | 146.7 | 175.0 | 157.1 | 149.6 | 150.2 |
|                                                             | 多摩川苑 | —   | 166.6 | 133.9 | 127.3 | 119.8 | 122.8 |



|              |       |    |       |       |       |       |       |
|--------------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 居宅介護支援(予防)   | 氷川台   | —  | 24.3  | 21.7  | 23.4  | 31.0  | 20.5  |
| 給付管理者数(件)    | 多摩川苑  | —  | 27.3  | 29.3  | 32.7  | 35.2  | 35.8  |
| 地域包括支援センター   | 東部    | —  | 338.3 | 338.0 | 345.5 | 347.4 | 307.4 |
| 予防給付管理者数(件)  | 多摩川苑  | —  | 212.8 | 197.5 | 197.7 | 182.9 | 176.1 |
| グループホーム      | ひかわだい | 9  | 94.7  | 99.5  | 97.9  | 98.7  | 98.8  |
|              | おがわ   | 18 | 95.0  | 92.8  | 91.3  | 97.4  | 98.1  |
|              | 多摩平   | 9  | 95.4  | 98.0  | 95.1  | 98.8  | 98.1  |
| 月平均利用率(%)    | つつじ   | 18 | 96.6  | 93.6  | 96.4  | 99.2  | 98.0  |
| 小規模多機能       | 南平    | 29 | 28.7  | 27.9  | 23.6  | 23.7  | 24.1  |
| 登録者数(人)      | 栄町    | 29 | 24.8  | 22.3  | 21.1  | 20.2  | 22.3  |
|              | さくら   | 29 | 24.4  | 23.8  | 22.9  | 23.4  | 23.5  |
| 多摩若年性認知症総合支援 | 多摩    | —  | 7.3   | 7.6   | 7.8   | 7.5   | 8.2   |
| 相談件数         |       |    | 243.2 | 224.1 | 156.9 | 303.8 | 210.4 |
| 清瀬就労B型       | 登録者数  | —  | 29    | 21    | 17    | 13    | 12.0  |
|              | 1日平均  | —  | 12.5  | 6.9   | 5.2   | 6.2   | 3.6   |

### 3. 法人単位の資金収支の状況（資金収支計算書）

金額（千円）

| 項目           | R3      | R2      | R1      | H30     | H29     |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事業活動資金収支差額   | 126,264 | 134,653 | 86,034  | 88,507  | 106,383 |
| 施設整備等資金収支差額  | -54,099 | -45,145 | -83,816 | -58,136 | -74,734 |
| その他の活動資金収支差額 | 731     | 49,288  | -6,797  | -8,830  | -11,657 |
| 当期資金収支差額     | 72,896  | 138,795 | -4,579  | 21,541  | 20,147  |
| 法人本部         | 1,380   | 4,833   | -3,107  | -67,632 | -703    |
| 東久留米         | 17,130  | 26,208  | -26,636 | 33,943  | 1,627   |
| 日野           | 44,021  | 36,084  | 42,914  | 43,341  | 26,921  |
| 新宿           | 10,365  | 71,670  | -17,750 | 11,889  | -7,698  |
| 前期未支払資金残高    | 886,766 | 747,970 | 852,549 | 728,201 | 710,862 |
| 当期末支払資金残高    | 959,662 | 886,765 | 747,969 | 749,742 | 730,853 |

#### 4. 法人単位の事業活動の状況（事業活動計算書）

金額（千円）

| 項目               | R3        | R2        | R1        | H30       | H29       |
|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| サービス活動増減差額       | 61,622    | 49,615    | -5,032    | 21,398    | 26,358    |
| サービス活動収益         | 2,235,704 | 2,237,504 | 2,174,136 | 2,166,987 | 2,194,174 |
| サービス活動費用         | 2,174,082 | 2,187,889 | 2,719,168 | 2,145,589 | 2,167,816 |
| (減価償却費)          | 146,443   | 145,406   | 145,498   | 146,014   | 152,260   |
| (国庫補助金等特別積立金取崩額) | -87,153   | -86,318   | -86,388   | -87,772   | -90,701   |
| サービス活動外増減差額      | 6,392     | 7,819     | 6,648     | 9,189     | 6,918     |
| サービス活動外収益        | 15,732    | 17,060    | 19,070    | 23,897    | 23,928    |
| サービス活動外費用        | 9,340     | 9,241     | 12,424    | 14,708    | 17,010    |
| 特別増減差額           | 0         | -240      | -1,209    | 279       | 921       |
| 特別収益             | 30,585    | 123,704   | 37,361    | 112,681   | 114,662   |
| 特別費用             | 30,585    | 121,944   | 38,569    | 112,401   | 113,741   |
| 当期活動増減差額         | 68,014    | 57,195    | 405       | 30,865    | 34,120    |
| 法人本部             | 1,355     | 4,809     | -900      | -7,632    | 141       |
| 東久留米             | 8,088     | 185       | -15,913   | -4,149    | 3,122     |
| 日野               | 53,445    | 42,469    | 29,882    | 25,446    | 39,127    |
| 新宿               | 5,124     | 9,732     | -12,664   | 17,200    | -8,270    |
| 前期繰越活動増減差額       | 824,539   | 767,344   | 766,939   | 733,266   | 701,953   |
| 当期末繰越活動増減差額      | 892,553   | 824,538   | 767,346   | 764,132   | 736,150   |
| 基本金取崩額           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| その他の積立金取崩額       | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| その他の積立金積立額       | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 次期繰越活動増減差額       | 892,553   | 824,538   | 767,346   | 764,132   | 736,150   |

## 5. 法人単位の資産等の状況（貸借対照表）

金額（千円）

| 項目      | R3        | R2        | R1        | H30       | H29       |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 資産の部    | 5,454,533 | 5,497,882 | 5,401,884 | 5,394,927 | 5,682,177 |
| 流動資産    | 1,047,164 | 972,449   | 846,165   | 859,123   | 860,333   |
| 固定資産    | 4,407,368 | 4,525,433 | 4,555,718 | 4,535,804 | 4,821,843 |
| 負債の部    | 833,638   | 862,433   | 787,016   | 696,883   | 984,358   |
| 流動負債    | 191,932   | 184,191   | 202,511   | 193,428   | 286,249   |
| 固定負債    | 641,706   | 678,242   | 584,505   | 503,455   | 698,109   |
| 純資産の部   | 4,620,894 | 4,635,448 | 4,614,868 | 4,698,044 | 4,697,819 |
| 減価償却累計額 | 4,237,934 | 4,104,110 | 3,389,087 | 3,395,705 | 3,307,933 |

## 6. 積立金の状況

金額（千円）

| 施設名      | 積立目的          | R2 度末時点の<br>積立金額 |
|----------|---------------|------------------|
| マザアス東久留米 |               | 0                |
| マザアス日 野  | 施設設備整備・修繕目的積立 | 10,916           |
| マザアス新 宿  |               | 0                |

## 7. 関連当事者との取引の内容

（該当取引なし）



## 8. 準拠している会計基準

社会福祉法人新会計基準

| 事業概要                         | 事業開始年度 |
|------------------------------|--------|
| 介護保険サービス等における低所得者の利用者負担減免    | H17    |
| 地域の単身高齢者等を対象とした見守り配食サービス等の実施 | H18    |
| 地域の単身高齢等を対象とした各種相談事業の実施      | H07    |
| 災害時における各種支援活動の実施             | H13    |
| 他法人との連携による人材育成事業             | H26    |
| 若年性認知症の方への支援                 | H21    |
| 認知症の方やご家族等、地域の方向けの認知症カフェ事業実施 | H27    |
| 生活困窮者就労訓練事業の実施               | H27    |

## 9. 地域福祉ニーズへの対応状況

| 事業概要                         | 事業開始年度 |
|------------------------------|--------|
| 介護保険サービス等における低所得者の利用者負担減免    | H17    |
| 地域の単身高齢者等を対象とした見守り配食サービス等の実施 | H18    |
| 地域の単身高齢等を対象とした各種相談事業の実施      | H07    |
| 災害時における各種支援活動の実施             | H13    |
| 他法人との連携による人材育成事業             | H26    |
| 若年性認知症の方への支援                 | H21    |
| 認知症の方やご家族等、地域の方向けの認知症カフェ事業実施 | H27    |
| 生活困窮者就労訓練事業の実施               | H27    |



## IV 社会福祉法人マザアス 法人本部事務局

### 1. 令和 3 年度総括

令和 3 年度は、昨年度に引き続きコロナ禍の影響を受ける中、役員の改選に始まり、新規事業へ公募、大規模修繕などの中長期的な案件が重なった年であった。

求人活動では、ICT 化が加速する中、当法人もオンラインでの法人説明会やライブ配信、オリジナル求人サイトの運用に取り組んだが、成果を実感できていない。一層の洗練が望まれる。その一方で外国人雇用は 2 期目の EPA マッチングが成立や、留学生雇用などの進展がみられた。

また、多様な働き方に対応した制度設計を目指したが、規程の一部改定にとどまっている。

## V 高齢者福祉総合施設 マザアス東久留米

### 1. 令和 3 年度総括

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の対応も 2 年目となり、ワクチン接種の対応から始まり、一年を通じてこの感染症と向き合うことを余儀なくされた。初めてのワクチン接種手続き等は戸惑う事も多かったが、主治医や産業医のご協力により、入所者も職員も早期にワクチン接種を受けることができた。しかし、オミクロン株の大流行により、2 月には特別養護老人ホームで集団感染が発生した。その際も、主治医や関係医療機関のご協力により、速やかでスムーズな医療的対応を受けることができたことは幸いであった。

年度前半は、地域密着型新規事業の応募に向け 7 月より準備を開始し、手を尽くしたが、残念なことに 10 月の二次審査の結果は落選であった。この応募の経験を、次への準備につなげていきたい。グループホームひかわだいについては、市とオーナーと法人の 3 者での 20 年の契約期間が 2 月に終了し、オーナーとの新たな契約がスタートした。

外国人留学生については、新たに 1 年生 3 名のアルバイト学生を受け入れ、研修期間を設けた上で現場の OJT を行い、現在は介護現場で力を発揮している。2 年生については、定期的に国家試験対策勉強会を実施し、資格取得の支援を行った。養成施設卒業した 3 名を、令和 4 年度には正規職員として迎える事ができた。東京都の宿舍借り上げ制度を活用し、特定技能の外国人雇用も含め、現在 7 名の外国人が居住し、次年度は 3 名の学生が正規職員としての入職が内定している。

令和 3 年度は、東久留米拠点全体では前年度比でサービス活動収益が約 2,900 万円の減収であるが、これは GH たきやまの事業閉鎖があった為であり、東久留米拠点全体では、GH たきやまを除き前年度比でサービス活動収益は約 840 万円の増額であった。介護保険級地区分 5 級地から 3 級地に変更となった関係による収入増が主な要因である。またサービス活動増減差額は 1,721 万円であった。昨年度で +812 万円と改善しており、令和 2 年度より継続しながら各事業において人員配置の見直しを進めたこと、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中でも大きく収入が減らなかったことが要因と捉えている。当期活動増減差額は、本部繰入後 約 808 万円の黒字となった。

令和 3 年度重点課題について、下記に報告する。

#### (1) ICT の活用のためのインフラ整備

##### ①成果指標

5 月より、部門会議等部署内の会議や地域ケア会議、主任ケアマネ会議等の関係機関との会議も WEB にて開催可能とした。

8 月から、LIFE ヘデータ送信し、算定可能とした。

特養のタブレット端末を更新したことで交信に時間を要すようになったため、WiFi 環境を見直し、改善した。

取引銀行とのやり取りをクラウド化し、スピード化を図るとともにセキュリティを強化した。

## ②実施計画の振り返り

オンライン会議システムのアプリを導入したことで、研修会受講や離れた事業所間での会議参加が可能となり、コロナ禍におけるコミュニケーションが活性化した。

書類や画像等紙ベースでの書類の印刷や綴る手間の削減、また、科学的介護推進体制の構築までには至らず、今後も取り組みが必要。

## (2) 就労継続支援 B 型事業の安定的経営

### ①成果指標

1 日平均利用者数 目標 9.75 人に対し、12.5 人の実績であった。

### ②実施計画の振り返り

- ・主たる障がい者が知的障がいの方を受け入れる機会が増えることが予想されたので、職員の支援スキル向上のために、障がい者支援研修 e ラーニング「サポカレ」の導入し、WEB で研修受講できる環境設定を行った。
- ・毎夕 30 分の職員ミーティングを開催し、利用者情報の共有や支援方法の統一を図った。
- ・福祉サービス第三者評価を受審した。業務の標準化など多くの気づきを得られた。
- ・食品加工は、昨年度より更に取引先が増え、新たな商品及び加工受託が増加した。
- ・事業所内軽作業は、いりこの選別や手帳のリサイクルなど、新規の仕事を受注することができた。
- ・施設外就労としては、アパート清掃や農作業の拡大など、仕事の幅が広がった。
- ・東久留米市就労支援センター・東久留米市商工会・他福祉作業所と連携し、市内民間企業との関係をつくり、受託仕事を開拓することができた。

## (3) 在留資格「介護」で就労を目指す留学生への支援の継続

在留資格「介護」を目指す留学生への支援は、令和元年度から準備を進め、令和 2 年度から 3 年度も継続して実施した。実施状況は以下のとおり。

### ①成果指標

令和 2 年度にアルバイト採用した留学生のうち、3 名が正規職員として入職。

令和 3 年度にアルバイト採用した 3 名は、令和 4 年 4 月時点でマザアスへの就職内定済み。

以上の 6 名について「東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業」の制度を活用し、マザアス東久留米近隣に住宅を確保した。

## ②令和元年度からの3年間の実施状況の振り返り

令和元年度：武蔵野大学別科介護福祉士養成課程の新規開校にあたり、養成校担当者と実習受け入れ施設としての登録や学生アルバイトの受け入れ、外国人介護職の育成について打ち合わせを行った。

令和2年度：新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、介護福祉士養成課程の学生がアルバイト先から解雇される事態が続いているので、留学生アルバイトをマザアスで数名受け入れて貰えないかと、養成施設から相談を受ける。

令和2年5月から5名の留学生を雇用。

5月～7月に介護に関する日本語の学習、介護技術の研修を実施、8月から現場でのOJTを実施した。5名のうち年度の途中で退職し、他施設にアルバイト先を変更する留学生あり、また、新たにアルバイトを希望する留学生を受け入れるなどメンバーの入れ替りがあった。

令和3年度：令和3年4月、新1年生3名をアルバイト雇用した。「介護福祉士等修学資金貸付制度」を利用する2名について、法人保証を承諾した。

2年生に対しては、国家試験対策支援として、担当者がテキストや過去問を準備し、前期は月1回、後期からは月2回定期的にアルバイト勤務時間中に勉強会を実施し学習支援を行った。

## （4）事業の終了と新規事業の取り組みへの対応

### ①成果指標

地域密着型サービス新規事業の事業者として選定されなかった。

### ②実施計画の振り返り

東久留米市が第8期介護保険事業計画として誘致募集をした新規事業は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の対応等による市の状況から、募集が9月にずれ込んだ。10月に公募されたため10月7日に応募書類を提出し、一次審査は10月中旬に行われ、二次審査が10月28日に行われた。11月5日に選定結果の発表があり、マザアスは選定されなかった。

一方、グループホームひかわだいについて、東久留米市とマザアスによる運営受託事業が契約期間満了となったため、令和4年2月14日付で、東久留米市とオーナー、社会福祉法人マザアスの3者の契約から、オーナーと社会福祉法人マザアスと新たな契約を結び、グループホームひかわだいは運営を継続している。



## 2. 特別養護老人ホーム マザアス東久留米／短期入所マザアス東久留米

令和3年度の特養入居者の死亡退所者は21名で前年度に比べて9名減少した。退所者の減少により稼働率は比較的高位で推移していたが、令和4年に入ってから世間で新型コロナオミクロン株感染者が急増し、2月に入ってからマザアス東久留米内でも感染者が急増し、重症化予防の為に入院を余儀なくされたことから稼働率が急落した。

コロナ感染症が落ち着くまで1カ月を要したこと、その間新規入所者面接等を自粛した影響で平均稼働率は昨年度よりは上昇したものの目標数値98%を割り込む結果となった。

ショートステイは前述の新型コロナ感染拡大により約1カ月間にわたり入所制限を行ったことから平均稼働率は昨年度を下回ることになった。

|            | 特養                | ショートステイ         |
|------------|-------------------|-----------------|
| 利用定員       | 80                | 10              |
| 延べ利用者数     | 28,519 (28,227)   | 2,971 (3,023)   |
| 1日平均利用者数   | 78.1 (77.3)       | 8.1 (8.2)       |
| 稼働率        | 97.7 (96.1)       | 81.3 (82.7)     |
| 稼働日数       | 365               | 365             |
| 平均介護度      | 4.2 (4.2)         | 2.9 (3.2)       |
| 1人1日当り単価   | 13,305 (13,108)   | 12,452 (12,751) |
| 総収入：補助・寄附除 | 379,460 (367,981) | 36,996 (38,548) |
| 常勤換算職員数    | 54.4 (55.6)       | ***             |

カッコ内は昨年度の数字

## 3. デイサービスセンター マザアス氷川台

前期は「ご利用者が選択できるレクリエーション」のプログラムが定着し、利用率が伸びたが、一日平均通所人数27.8人を超えることができず伸び悩んでいる状況であった。

公文学習療法の宣伝を行ったことで登録者数が増え、利用率が上がり始めた頃に、コロナ感染の第6波となり、ご利用者のデイサービス利用控えにより利用率が上がらなかった。感染状況が落ち着き始めた3月頃からは利用再開する方が増えている。

次年度は学習療法を前面に出しつつ登録者数を増やしたい。地域でコロナ感染者が増えても「マザアスは安心してサービスが利用できる」と言って頂けるよう、今後も感染対策を行っていく。

本年度は中重度加算の算定ができたが、次年度以降も継続できるよう、中・重度者の比率を意識していく。中重度のご利用者の殆どは入浴を希望されている。入浴については、人員配置と業務分担の関係上、一日機械浴槽 4 名、普通浴槽 16 名を想定した動きにしているので、ご利用者ニーズに添うためには想定枠を見直す必要がある。今後は、着脱室や浴室の環境整備を行うなど動線を短くし、職員とご利用者、双方にとって動きやすい環境を整えて行く。良いサービスを提供できるよう人材育成、環境整備に力をいれていく。

#### 4. 認知症対応型デイサービス湧泉の郷

前期は利用終了者が相次ぎ、利用率が低下した。後期は公文学習療法の宣伝を行い登録者数は増えたが、コロナ感染者の第 6 波の影響を受け、利用者のデイ利用を控える傾向となり、利用率が上がらなかった。

感染状況が落ち着き始めた 3 月頃より利用率が上昇してきている。次年度は学習療法を前面に出しつつ登録者数を増やし、地域の感染者が増えても「マザアスは安心してサービスが利用できる」と、安心して利用して頂けるよう今後も感染対策を行っていく。

|           | 介護・予防          | 認知症対応型        | 合計             |
|-----------|----------------|---------------|----------------|
| 利用定員      | 39             | 12            | 51             |
| 延べ利用者数    | 8,454(前年比+232) | 1,865(前年比-58) | 10,319(+174)   |
| 1 日平均利用者数 | 27.2 人(+0.4)   | 6.0 人(-0.7)   | 33.2 人(-0.3)   |
| 稼働率       | 69.7%(+1.1)    | 50.6%(-1.0)   | 65.0%(+4.9)    |
| 稼働日数      | 310            | 310           | ***            |
| 平均介護度     | 介護 1.9 支援 1.7  | 介護 2.1        | 介護 2.0 支援 1.75 |

#### 5. デイサービスセンター マザアス大門

##### (1) 令和 3 年度前半の利用率増加

管理者兼相談員の正規職員 1 名の他、正規職員(相談員)1 名を増員配置し、職員の教育に力を入れ質の向上に努めた。また、急な欠勤があってもサービスに支障がないよう勤務体制を整えた。

「大人の学校」プログラムを導入し居宅事業所等への周知を行った。体験利用や見学時のアピール要素になり新規利用者増に繋がった。また、特別なプログラムを提供して臨時利用を受け入れた。コロナ禍だったがご利用者様の健康状態も変わりもなく利用率 80%以上維持することができた。

##### (2) 3 年度後半の利用率の減少



10 月から高齢のご利用者のご逝去や施設入所が続き、終了者が多くなっていた。新規の問い合わせも少なく、新規利用に繋がってもすぐ終了となるご利用者もあり、登録者 19～20 名あったところが平均 15 名まで減少してしまった。土曜日の利用人数を増やそうと新規利用者に勧めてみたが、土曜は家族の訪問など予定が入るご利用者が多く、増やすことが出来なかった。

2022 年 2 月は職員のコロナウイルスの感染があり 3 日間休業した。ご利用者・ご家族へ不安を残し利用率が大きく低下した。3 月からは利用率が少しずつ戻り、新規の問い合わせも増えている。R4 年 4 月からは曜日毎、登録者 19～20 人確保する為の工夫が課題となった。

|           | 介護・予防         |
|-----------|---------------|
| 利用定員      | 18 名          |
| 利用者数 (延べ) | 4,332 名       |
| 1 日平均利用者数 | 14.1 人        |
| 稼働率       | 78%           |
| 稼働日数      | 307           |
| 平均介護度     | 介護 1.3 支援 1.7 |

## 6. ヘルパーステーション マザアス氷川台

過去 3 年間の稼働状況の推移をみると、平成 31 年度は新規相談 89 件、平均稼働時間 762 時間、令和 2 年度は新規相談 55 件、平均稼働時間 740 時間、令和 3 年度は新規相談件数 27 件、平均稼働時間は 700 時間だった。

今年度もコロナ禍という特別な状況下ではあったが、サービスにつながったのは 24 件で、昨年の 33 件よりは減少しているが、相談が来た際ほぼサービスにつなげることができた。昨年と同様にサービス提供責任者の退職があり、10 月から新任のサービス提供責任者が着任したが、新規の受け入れを積極的に行うことで、3 月に 789 時間と今年度最多の稼働時間となった。

ヘルパー不足によりサービス提供責任者が代行に入ることが多くなっており、サービス提供責任者の業務負担がますます増えている。特に、朝・夕・土・日は、入れるヘルパーがいない為、サービス提供責任者が残業にて対応している状況にある。

令和 4 年度で 70 歳になる登録ヘルパーも数人おり、仕事を減らしたいと申し出ているヘルパーもいる為、稼働時間を維持していくためには人材の確保が必須であり、早急な課題となっている。

令和 3 年 10 月に東京都福祉保健局指導監査部の実地検査があったが、文書による指摘事項はなかった。10 月以降、管理者が交代したが、今後も適正な運営に努めていきたい。

| 介護給付       |            |            | 予防給付       |            | 単価（円）     |           | 総収入<br>（千円） |
|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-------------|
| 平均利<br>用者数 | 月間訪<br>問件数 | 年間訪<br>問件数 | 月間訪<br>問件数 | 年間訪<br>問件数 | 介護<br>（回） | 予防<br>（月） |             |
| 16.3       | 557.5      | 6,690      | 35.2       | 2,536      | 3,683     | 19,154    | 33,043      |

## 7. 居宅介護支援事業所 マザアス氷川台

令和3年度は主任ケアマネ2名、ケアマネ3名の5名体制で業務を行った。令和3年度の介護保険制度改正、東久留米市の地域区分の変更に伴い、書類の変更、利用者への説明等業務量が増大したが、問題なく対応することが出来た。利用者や家族にコロナ罹患患者が発生したが、事業所では机の配置を変更し職員間のスペースを確保、定例会議はウェブでの開催としたほか、利用者訪問時には手指消毒、マスク交換等感染予防につとめ、職員では一人も罹患患者を出すことなく事業所内で勤務を行う事が出来た。

実績としては、介護、予防合わせて2360件、1か月平均196件となり、数値目標をクリアしている。今後も、社会福祉法人として、特定事業所加算を取っている事業所として、地域からの信頼に応え、いつでも包括支援センターからの困難ケースを受け入れる体制を整えていく。事業所内でのリ・アセスメントシートを活用した事例検討会を通してスキルアップを図るとともに、地域のケアマネの資質向上にも貢献していきたい。

| 年間請求件数 |     | 平均単価（円） |       | 訪問調査<br>年間件数 | 訪問調査<br>単価（円） | 総収入<br>（千円） |
|--------|-----|---------|-------|--------------|---------------|-------------|
| 介護     | 予防  | 介護      | 予防    |              |               |             |
| 1,760  | 291 | 17,766  | 4,601 | 5            | 4,180         | 31,579      |

## 8. 東久留米市東部地域包括支援センター

コロナ禍の元、高齢者の総合相談対応や要支援者の介護予防支援はもとより、地域の自助・互助のしくみを整備するための以下の事業を実施した。認知症対策関連として「認知症サポーター養成講座」「認知症サポーターフォロー講座」「認知症家族会」の開催、サポーター養成講座では、新たに小山小学校と第二小学校が加わり、東部地区の小学校全校で関わることが出来た。コロナ禍にて職員人数を減らし、内容を変え、工夫しながら講座を行った。

地域のケアマネジャー支援として「地域ケアマネ懇談会」「ケアマネサロン」の開催。地域づくりの取り組みとして「地域ケア個別会議」「第二層協議体」「地域見守りネットワーク会議」などを実施、感染予防を考え、人数を減らす、書面開催とするなどとした。



市内の包括の中、東部は虐待・困難ケースの件数が多い。多いうえ、本人自身の問題の他、家族の精神疾患など更に対応が難しくなっている。更に包括が2ヶ所に分かれていることにより、情報共有が難しいうえ、コロナ禍でと更に職員同士の共有が出来なくなっている。昨年度より、ズームミーティングを開始、情報共有に努めるようにした。

今後も、より働きやすい環境作りを継続し、利用者・地域住民の為の包括を目指していきたい。

| 受託収入<br>(千円) | 予防プラン<br>請求件数 | うち、<br>再委託件数 | 予防プラン<br>単価 (円) | 総収入<br>(千円) |
|--------------|---------------|--------------|-----------------|-------------|
| 40,139       | 4,049         | 1,390        | 4,601           | 59,628      |
| 40,112       | 4,056         | 1,323        | 4,601           | 60,655      |

下段は R2 年度

## 9. 就労継続支援 B 型事業所

### (1) 成果指標

- ・ 1 日平均利用者数 目標 9.75 人に対し、12.5 人の実績であった。 計画の振返り

### (2) 実施事項

- ・ 主たる障がい者が知的障がいの方を受け入れる機会が増えることが予想されたので、障がい者支援研修 e ラーニング「サポカレ」の導入し、WEB で研修受講できる仕組みを構築した。
- ・ 毎夕 30 分の職員ミーティングを開催し、利用者情報の共有や支援方法の統一を図った
- ・ 福祉サービス第三者評価を受審した。業務の標準化など多くの気づきを得られた。
- ・ 食品加工は、昨年度より更に取引先が増え、新たな商品及び加工受託が増加した。
- ・ 事業所内軽作業は、いりこの選別や手帳のリサイクルなど、新規の仕事を受注することができた。
- ・ 施設外就労としては、アパート清掃や農作業の拡大など、仕事の幅が広がった。
- ・ 東久留米市就労支援センター・東久留米市商工会・他福祉作業所と連携し、市内民間企業との関係をつくり、受託仕事を開拓することができた。

|         | 1 日平均利用者数 | サービス活動収益     |
|---------|-----------|--------------|
| 令和 3 年度 | 12.5 人    | 31,999,351 円 |
| 令和 2 年度 | 6.9 人     | 18,340,244 円 |



## 10. グループホームひかわだい

ひかわだいは、無資格未経験からスタートしている方が複数在籍しており、介護技術や知識の標準化を図るため、スタッフミーティングの時間を利用して、職員のスキルアップのための研修を3ヵ月毎に行った。また、ミーティング開催日前よりテーマを募り、具体的な提案を事前に考え、サービス内容の振り返りや意見交換を行なったりした。

さらに、チームの危機管理能力を高める為、緊急時や災害時にどの職員も適切な対応を判断し、実行できるよう、3ヵ月毎にDVD学習やマニュアルおよびホーム内の設備確認などを行ない、感染症の流行する10月と11月にはインフルエンザや新型コロナウイルスに関する研修も行った。ひかわだいは、研修への参加に意欲的な職員が多く、学びの場となっている。

総括としては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域との交流は出来なかったものの、ホーム内で楽しめるレクリエーションや行事、昔ながらの家庭料理などを実施した。課題としては、令和3年度はご利用者の入退去が多く、稼働率も94.7%と目標数値を下回る結果となった。そのため新規入居者の確保や退去から入居までの期間が空かないよう、定期的に入居申し込み者に向けたアプローチを行うよう努める。またご利用者の状態が変化した際には、個々の状況に合わせた柔軟なサービスの提供も行う事ができるよう努める。また、新型コロナウイルス感染の予防と発生時の対応についてBCPを基にシミュレーションを継続し備えていきたい。

## 11. グループホームおがわ

令和3年度も昨年度に続き、ご利用者の入退所の多い年であった。特に看取り介護状態から退所になるケースが多く稼働率に大きく影響した。また新規入居があるとすぐ退所が発生し、それが繰り返したことで、入居者の選定が難航し、新規問合せが少ないことも重なり空床期間が長くなった。令和3年度は、市内の地域包括や近隣病院に空床情報を流すなどの対応を行なった以外に「みんなの介護」に登録を年度末には待機者数も5名程度確保はできているが、家族は市内在住でもご本人が県外というケースが多く、コロナの新規感染者数の増加により、直接ホームに来所しての体験入居や面談などを行う事がほぼできず、1件の新規入居を受け入れるまでには時間がかかる結果となり、令和3年度は稼働率が95.0%と今年度の目標数値に満たない結果となった。そのため従来通りの対応ではなく、with コロナという現状を踏まえた面談の方法や入居申込者の取り巻く環境の変化にも柔軟に対応する必要性を感じた。また災害時を想定した防災マニュアルの整備や防災訓練を事業目標に挙げ、備蓄用品の整備以外に大規模災害におけるBCPの策定やそれに付随する避難訓練（想定訓練）の実施を行い、職員育成のためのホーム内研修の実施や長年実施ができていなかった「ホーム便り」の復活を行う事ができた。その他にボランティアの受入れの強化を目標に挙げていたが、「社協だより」に

募集の掲載をしてもらうも、新型コロナウイルス感染拡大の防止により受け入れをする事が出来ない状態が続いた。総括・今後の課題としては、現在も空床が1件続いている状況であるため、入居受け入れ方法の見直し（オンラインの活用やホームの様子を録画し、申込者に動画を送るなど）をする事で速やかに入居ができるよう進めていく。また待機者人数を確保するだけでなく、その後も入居申込者となつなげていけるよう、定期的な連絡な近況確認に努めていく。

| グループホーム     | ひかわだい     | おがわ       |
|-------------|-----------|-----------|
| 利用定員        | 9         | 18        |
| 利用者数（延べ）    | 3,107     | 6,228     |
| 1日平均利用者数    | 8.51      | 17.06     |
| 稼働率         | 94.5      | 94.7      |
| 稼働日数        | 365       | 365       |
| 平均介護度       | 2.4       | 2.7       |
| 単価（1人1日当り）  | 14,489 円  | 14,622 円  |
| 総収入（補助・寄附除） | 45,019 千円 | 91,066 千円 |
| 職員数（常勤換算）   | 9.0       | 17.1      |

## 12. 地域公益活動

### （1）サロン活動など

平成20年度から継続してきた「マザアス健康体操」をはじめ、「バスドライブ」や「オレンジカフェ“和”」「歌声マザアス」「トークサロン」「来所給食」等の活動は、新型コロナ感染症感染拡大予防のため、令和3年度も事業を休止していた。

### （2）中間的就労の場を提供する活動

「生活困窮者就労訓練事業」「はたらくサポートとうきょう」などの事業については、新型コロナ感染症も懸念されたためか相談自体も少なく、新規受け入れは無かった。

### （3）地域関係者とのネットワークづくり

地域との交流イベントやボランティア活動も昨年度に引き続き自粛したが、毎年近隣自治会と合同で開催している「大規模災害発生時の総合訓練」については、密にならないよう会場設定し、開催した。

日時：令和4年3月11日（金）14：00～16：00

場所：マザアス東久留米3階地域交流ロビー

参加者：東久留米市防犯防災課、門前自治会、下山親睦会、氷川台二丁目自治会  
マザアス東久留米職員

内容：大規模震災発生時の対応訓練、二次避難所開設訓練など

## VI高齢者福祉総合施設 マザアス日野

### 1. 令和3年度総括

前年度までは、職員内で新型コロナウイルスの発症があっても、それ以上感染拡大することなく対応ができていた。しかし、本年度2月上旬に利用者の発熱、時を同じくして定期検査において職員の陽性が確認されたこと端緒として、以降1カ月以上にも及ぶ感染症対応が継続した。その中で、22名の利用者、8名の職員が陽性となった。その間、日々感染症対応者が増える一方で、勤務できる職員が減少するという未だかつてない非常に厳しい状況が継続した。そのような状況下においても、各職員がそれぞれの職務に従事し続け、普段にも増して奮励し続けてくれたことは感謝の念に堪えない。当該期間中は、救急要請後の救急車到着までに時間を要する、救急搬送先が見つけれない等、報道等で耳にする状況を目の当たりにし、肉体的のみならず精神的にも非常にシビアな状況に晒された。この経験を活かし、感染症拡大防止の対応につなげたい。面会やイベントの開催等、元の生活がこれからの日常とはなり得ない中で、新たな在り方を含め今後も検討し続けたい。

継続的な取り組みである離職率の低下について、日野事業所全職員で17.1%、同介護職員全体で12.9%と、いずれも昨年度から上昇している。一昨年度と比較して2年連続で上昇し続けている。また、離職者に占める勤続3年以内の職員は59.4%とこちらも昨年度から大幅に上昇している。離職率上昇の要因は単一の者ではなく、例年と同じような状況であるが、常勤換算数による全体の離職率を再計算すると15.5%、同様に3年内離職者の割合は54.2%と若干低下するため、従来よりも職員全体の非常勤化が進んでいることが一つの要因として考えられる。また、離職者の内、直接介護職員が占める割合が約40%、直接介護職員以外が占める割合は60%と、2016年度数値とは逆転しており、介護職以外の離職が増えている傾向があった。今後の取組の課題となる。

経済状況においては、既述の通り、特養における新型コロナウイルスの発生に伴い、ショートステイの休止、新規入所者の見合わせや入所時期の遅れ、職員体制確保のためのデイ休止等、非常に甚大な影響を及ぼした。しかし、小規模多機能ホームでの高稼働率維持、居宅介護支援事業所における数値の向上等があり、拠点全体として大幅に収支を悪化させる事態は免れることができた。

法人として初の取組である、EPA介護福祉士候補者の受け入れについては、当初の予定よりも半年程度遅れた6月に就労開始となった。部署を横断したサポートチームを編成し支援にあたった。就労しているEPA介護福祉士自身が非常に優秀で真面目に職務に取り組む人柄であることに加え、サポートチームの各メンバーが、生活、職務等様々な側面から支えてくれていることによって、非常に良い関係が築けている。

令和3年度重点課題について、下記に報告する。

## (1) 拠点内における人材育成と体制整備

### ①総括

全ての職員に対する基本的知識やスキルの獲得機会としての内部研修、階層別研修、介護職員の各種資格等取得、ジョブローテーションによる育成を主な柱として取り組んだ。内部研修については、職員研修委員会により、定着し発展を図ることができた。他事項については、コロナの影響により、中止もしくは中段を余儀なくされた。

### ②実施事項

#### A 内部研修

職員研修委員会により、企画、講師調整、当日運営から実施後管理までを一元的に実施した。感染症の影響により、一部中止をする回はあったものの、講師の複数担当化、オンラインによるライブ配信、不測の事態に備えた講義録画及び放映等の対応を行った。また、講師選定においては、講師を担う職員の育成等の観点も取り入れて実施した。ほぼ計画と通りに実施することができた。

#### B 階層別研修

対面且つグループワーク等の内容により行われることが多い当該研修については、感染症蔓延状況を見ながら実施時期を検討したものの、結果としては開催時期を逸することで、本年度は開催に至らなかった。年度内では、法人全体の管理職研修1回のみの開催に留まった。

#### C 介護職員の各種資格等取得

介護職員の喀痰吸引研修については、特養部門において1名が座学研修を受講した。しかし、実地研修段階において急遽中止となり研修修了には至らなかった。過年度分等の座学修了者を含め、複数名が実地研修調整段階で足止めとなっている。他、無資格者の認知症基礎研修受講については、対象者についての申し込みを行うものの開催中止等により受講には至っていない。

#### D ジョブローテーションによる育成

本項を目的とした異動を年度内で3件実施したものの、内2件はその後離職に至った。

### ③成果と今後の課題

内部研修においては、当該研修が施設内部でも意識されており、定着化している。また、受講者及び講師双方の育成機会とすることができている。そして、コロナ禍においても、学びを止めない開催方法を柔軟に対応できていることから、それらを促進させる成果となっている。研修評価結果は「研修効果の期待感 B-1 知識・スキル向上」が全平均値で3.2（4段階評価）となった。階層別研修については、法人全体の管理職研修等もリンクさせることを含めて、実施方法からの課題を解決しなければならない。介護職員の各種資格取得については、座学の進捗はあるものの、実地において受講の困難性が上がっている。東京都による実施以外の方法についても情報を収集し、速やかに受講できるよう調整を続ける。認知症基礎研修については、開催中止等により受講できておらず、今後は非常勤職員を含めてオンラインによる研修受講を進める。



ジョブローテーションについては、結果を見るに成果とはなっていない。当該事項については異動の文化定着と相関関係があり、経年的に取り組んでいるものの、定着には至っていない。各職員との個別コミュニケーションも含め時間をかけた対応が必要となるため、今後も継続的に取り組む。

## (2) EPA 介護福祉士候補者受け入れ態勢の構築と受入れ、継続的就労へのサポート

### ①総括

法人内で初となる EPA の受け入れ及び就労継続、介護福祉士取得のための準備（以下、受け入れ等という）について、日野拠点内を横断的に人選したサポートチームを中心とした準備及び対応により、EPA 及び施設職員双方に混乱なく、受け入れ等を行うことを目標に対応した。結果、当初から予定されていた就労開始時期の延期はあったものの、大きな混乱なく現在に至っている。また、予期せぬ出来事等はあったものの、サポートチームメンバーを中心に、状況に応じた柔軟な対応が実施できた。

### ②実施事項

#### A 就労開始前

定期的に就労予定者に対してメールにて連絡を取り、近況確認や施設職員紹介を行った。また、宿泊先を訪ね、直接コミュニケーションを図り、生活に対する意向を確認したほか、就労直前には施設へ招き、実際に就労場所を見たり、共に働く仲間と顔を合わせることで不安の軽減を図った。

#### B サポートチームミーティング

就労開始以降も含め、当年度内に延べ 8 回のミーティングを開催し、各担当の準備状況直状況の共有や体制整備に関する検討を行った。先行施設の事例勉強会は、施設内のコロナ発生により中止となった。

#### C サポート

就労開始以降、就業上の事項の他にも、住宅関係、買い物等生活関係、在留資格更新から教会関係や携帯電話の契約に至るまで、必要に応じてサポートチームを中心とした支援を行った。

#### D 学習関係

東京 YMCA 医療福祉専門学校への業務委託契約により、学習環境を整備した。他、週 1 回の日本語プライベートレッスンを実施している。いずれも、コロナの状況に応じてオンラインに切り替え、学びが途絶えることが無いように対応している。

### ③成果

予定事項は概ねスケジュール通り実施できている。また、EPA の 2 名がいずれも就労継続できしており、N3 取得に至っていることから、成果が出ていると考えられる。そして、2022 年度入国者のマッチングは見送ったものの、2023 年度入国者についてはマッチングが成立し、受け入れ準備に進めていることも、継続的な受け入れに繋がる大

きな成果であると言える。但し、サポートチームを中心とした中核職員の負担については今後検証、負荷の分散化が必要と考えられる。

### （３）労働環境の再整備

#### ①総括

運営基準となるハラスメント対策について、基本的な理解促進から進めた。前期及び後期にそれぞれ機会を設けたことにより、各管理職の理解や意識付けにはつながったと思われるが、十分とは言い難い。また、その先の目標である「各職員が働きやすいと感じる」環境についての取組や評価には至っていない。

#### ②実施事項

上半期に、管理職が同一のオンライン研修を視聴し、運営会議において法人の規定等の確認、当該研修を視聴した上でのディスカッション及び身近に生じている事象等について話し合う機会を設けた。上半期は、法人全体の管理職研修において、ハラスメントに関する理解を深める研修の場を設けた。

#### ③成果と今後の課題

コンプライアンス委員会の案件となるようなトラブルの発生はなかった。研修視聴と当該研修内容に基づく意見交換や現状確認を行うことで、ハラスメントの理解や意識付けには繋がったと思われる。しかし、より踏み込んだ、働きやすい環境整備には着手できなかった。加えて、今後は所謂カスタマーハラスメントへの対応強化が求められる。

### （４）通所介護事業所の経営の安定を図る

#### ①総括

令和一年度、二年度に引き続き経営安定化に取り組んだ。しかし今年度もコロナウイルス感染の波により、感染防止優先の対応とならざるを得なかった。予定していた居宅介護支援事業所及び包括支援センターへの訪問は控えざるを得ず、積極的に通所サービスを利用していただくように働きかけることも難しい状況であった。昨年度来、ご本人ご家族の感染対策に対する意識は高まり、緊急事態宣言下は長期欠席、その後も状況に応じてお休みされる方も見られ、利用率減の大きな一因となった。その中で出来る限りの取り組みとしては新規獲得よりも現状ご利用の方の利用回数増回である。取り下げ時のリスクは大きくなるが、数名について利用回数増を図るに至った。しかし利用回数増直後に特養入所に移行、小規模多機能への移行などが続き、担当ケアマネジャーとの連携が出来ていないことが課題となった。

また２月に特養で集団感染があったことからスタッフの応援体制のため通所サービスを７日間休止した。

※年度４月から１月稼働率平均及び２月稼働率の比較

- ・ ４～１月平均 一般 65.1%、総合事業 26.3%、認知症対応型 39.6%
- ・ ２月 一般 42.6%、総合事業 15.0%、認知症対応型 22.9%

1月までの平均と比較した場合、一般では22.5%、総合事業11.3%、認知症対応型では16.7%減となった。

新規獲得者及び取り下げ者は以下の通り。

- ・新規獲得者（R1年度61名・R2年度42名・R3年度24人）R2年度＞R3年度
- ・取り下げ者（R1年度57名・R2年度55名・R3年度35人）R2年度＞R3年度

利用者の高齢化と重介護化による他施設移行、ショートステイ利用の増加は変わらず、見学、新規獲得も伸び悩み、取り下げ者が上回る結果となった。

## ②実施事項

職員配置について、看護師常勤1名、非常勤1名の2名体制とした。介護スタッフについては4月1日付けで正規職員6名、非常勤職員6名。3月1日付けで正規職員6名、非常勤職員7名、人員配分はほぼ適正化されている。適正化の根拠として、スタッフ配置基準値に照らし合わせて、常勤換算値でプラス2名、時間数では80時間～100時間@週を確保している。これは中重度者ケア体制加算取得のためである。

## ③成果と今後の課題

平成30年4月と比較すると、当時はプラス150時間～160時間余分に確保されており、単純に考えて2名、利用人数が当時から2／3に減少したことを配置人数に考慮させるとすれば、ほぼ3名分の配置減となった。管理者や機能訓練指導員、看護師が送迎を担うことは当該年度もあるが、事業所全体でそれぞれの業務をフォローし担い合う連携体制が定着しつつある。認知症対応型の利用数が増加した場合、スタッフ一名では対応が難しいためシフト内で臨機応変に応援に入り、業務を進めていく体制も定着してきた。

## （５）若年性認知症に関する就労支援

### ①総括

若年性認知症当事者の就労の場を増やすことを目的に、計画では障害者雇用率の高い企業へ直接アプローチをするなど、新たなネットワークづくりの方法を試みるとしていた。

### ②実施事項

実際に障害者雇用率の高い都内の企業100社をピックアップしてアンケートを実施した。そのうち20社より回答を得て、うち15社より話ができる、或いは落ち着いたら（コロナウイルスが）話ができると回答を得た。

コロナウイルスの影響を鑑み、令和4年度に担当者宛てに連絡する旨手紙を送った。上記のとおり年度内のネットワーク構築には至らず、この取り組みは令和4年度以降で継続することとした。年度内に実現しなかった計画を日野拠点の行動計画として掲げ続けることは一旦中止し、部署内の計画として就労支援への取り組みを継続とする。

プロジェクトチームによる検討は参加メンバーの日程が合わず2回の開催に終わった。

まだ企業とのネットワーク構築に至っていないことから令和 4 年度は一旦この検討を休止し、令和 4 年度の活動内容を基に令和 5 年度再開の方向で検討する。

令和 2 年度実現しなかった、日野市の包括連携協定では、日野市地域包括支援センターせせらぎと共に、日野自動車の社員向けに認知症サポーター養成講座が開催され、その中で若年性認知症の就労についても説明を行った。今後も関係各所と連携の上、企業へ若年性認知症の就労について周知の機会を設けたい。

### ③成果と今後の課題

令和 3 年度も 2 人の相談者が再就職できた。毎年ごく少数ではあるが再就職に繋がっており、センター開所から述べ 12 人の相談者が再就職し、その半数以上が就労を継続している。この成果は全国的にみても稀な例である。論文にまとめ、令和 4 年度発刊される日本認知症ケア学会の認知症ケア事例ジャーナルに投稿することとなった。

たとえ認知症になっても働き続けられる社会を目指し、令和 4 年度も就労支援とその発信を継続する。

## (6) 日野（万願寺）施設における建物設備の大規模改修への計画

### ①総括

日野の施設は 22 年を経過し、今後 20 年以上施設運営を保つためには建物躯体および各設備の改修および更新が必要である。躯体などの外部面と設備などの内部面で、東京都大規模修繕補助金や国等の補助金の活用を切り分けて改修を進めるため、複数年計画にて取り組んでいる。

### ②実施事項

今年度は日野の建物および設備の更新について、設計業者を選定し、まずは建物設備の更新内容について、要改修箇所の確定を行った。その後、日野市から意見書を頂戴し、東京都福祉保健局との大規模修繕に係る補助金の申請書類を提出し、また借入金の申請書類も併行して作成し、福祉医療機構へ提出をした。その後も設計業者と法人本部を中心に行政および機構との手続きを進めていった。

### ③成果と今後の課題

次年度については、法人理事会にて入札等を実施し、施工監理業者の選定を行い、詳細な工事計画を詰めていく。そして、令和 4 年秋季頃より、改修修繕工事を開始していく予定。以降は東京都福祉保健局と協議を重ね、確認しながら令和 5 年度夏季頃完了を目指し、改修工事を進めていく。

また大規模改修後、向こう 20 年以上維持するには 20 億円以上が保全計画上見込まれているため、収益の確保にも引き続き努めていき、資金積み立てを每期確保し、施設の保全に充てていきたい。



## 2. 特別養護老人ホーム マザアス日野

令和2年度の反省を元に急な退所など備え入所手続きを早期に進め、空床期間を短縮化し、稼働率の安定と維持を目標に取り組んできた。しかし、10月と2月に流行した感染症により、入院者数の増加や月に4、5名の退所があり、入所手続きを事前に準備していたものの、退院支援や順次の入所対応などに追われ、年間平均稼働率は93.4%と年間目標に届かなかった。

来年度も今年度の反省を元に、待機者の方々の入所手続きを進め、急な退所が多く発生しても、早期に対応できることを目標に取り組んでいく。

## 3. 短期入所生活介護 マザアス日野

令和3年度の年間稼働率は54.2%。目標としていた数字よりも大幅に低い結果となった。要因として、コロナ感染症による利用自粛のお願いや緊急事態宣言などによるご利用者の方々の自粛の影響が考えられる。そのような中でも、特にご家族のレスパイトを目的とした支援は、感染症対策を行いながらも継続してきた。

感染症に対しては基本的な感染対応の徹底を行いながらも、継続して地域の方々が利用できるサービスとして、ケアマネジャー等へ案内、提案を実施し、新規ご利用者の獲得を行っていく。また、ご利用者の方々に安心して利用していただき、継続的な利用につながるよう、こまめな様子報告やサービスの質の向上を目指していく。

|               | R3 特養      | R2 特養      | R3 ショートステイ | R2 ショートステイ |
|---------------|------------|------------|------------|------------|
| 利用定員          | 106 名      | 106 名      | 14 名       | 14 名       |
| 利用者数（延べ）      | 37,189 名   | 37,219 名   | 2,766 名    | 2,714 名    |
| 1 日平均利用者数     | 101.9 名    | 102.2 名    | 7.6 名      | 7.4 名      |
| 稼働率           | 93.4%      | 94.7%      | 54.2%      | 54.6%      |
| 稼働日数          | 365 日      | 364 日      | 365 日      | 364 日      |
| 平均介護度         | 4.1        | 4.1        | 2.8        | 2.9        |
| 単価（1 人 1 日当り） | 12,923 円   | 13,090 円   | 13,000 円   | 13,264 円   |
| 総収入(補助・寄附除く)  | 480,599 千円 | 487,207 千円 | 35,958 千円  | 36,000 千円  |
| 職員数（常勤換算）     | 74.4       | 69.8       | 5.4        | 6.0        |

#### 4. デイサービスセンター マザアス多摩川苑

経営面の改善として、居宅介護支援事業所等への訪問による新規利用者獲得、現利用者の利用日数の増加についての、各居宅支援事業所等とのカンファレンスについては、今年度も感染症防止対策を優先し、大きな動きは出来ず、パンフレット等を送付するのみに終わった。

利用者層の高齢化および重度化における施設入所や入院等により、契約取り下げは今年度も多くあり、中には利用日数の増加につながるケースも数名いたが、プラン変更直後に利用取り下げとなってしまう傾向が数年続いている。入浴機器や機能訓練マシンの入れ替えを行ったので、今後は利用者と職員双方にとって良い環境整備を行い、人材教育についても継続的に注力し、データの見える化を図る等、より良いサービス提供を図っていく。そして、適性人員配置のもと、未算定である加算についても算定できるよう取り組んでいく。

|               | R3 一般・<br>総合事業 | R2 一般・<br>総合事業 | R3 認知症<br>対応型 | R2 認知症<br>対応型 |
|---------------|----------------|----------------|---------------|---------------|
| 利用定員          | 45             | 45             | 12            | 12            |
| 利用者数（延べ）      | 7,907 名        | 7,374 名        | 1,484 名       | 1,360 名       |
| 1 日平均利用者数     | 25.3 名         | 23.6 名         | 4.7 名         | 4.3 名         |
| 稼働率           | 56.1%          | 52.3%          | 39.5%         | 36.2%         |
| 稼働日数          | 313 日          | 313 日          | 313 日         | 313 日         |
| 平均介護度         | 1.8            | 1.7            | 3.7           | 3.2           |
| 単価（1 人 1 日当り） | 9,454 円        | 9,562 円        | 13,910 円      | 14,319 円      |
| 総収入           | 74,758 千円      | 70,512 千円      | 20,643 千円     | 19,474 千円     |
| 職員数（常勤換算）     | 12.6           | 10.8           | 2.9           | 3.0           |



## 5. ヘルパーステーション マザアス多摩川苑

通年の月平均稼働時間 398.3 時間であり、目標としている 450 時間以上には満たない状況であった。要因としては、コロナによる影響は顕著には見受けられなかったが、入院や入所、逝去に伴い利用契約が取り下げとなり、その補充が進まない状況があった。当該利用終了分としてのホームヘルパーの稼働可能時間はあるものの、その後の新規依頼者について、当該時間とは異なる時間帯の利用希望等であり、うまくマッチさせることができず、稼働低下に繋がった。

ここ数年、ヘルパーの新規採用が困難な状況が続き、新規利用者の獲得に当たっても、現在のヘルパーが稼働可能な日時に限られ、臨時の訪問等においてもサ責が時間を割かねばならず、課題となっている。また、訪問に関する実績記録等、特定事業所加算の算定も含め、デジタル化について今後対応を進める。次年度は、法人の初任者研修に生活援助型スタッフ研修受講者を派遣する等により、ヘルパーの増員を図る見込み。

| 介護給付       |            |            | 予防・総合事業    |            | 総収入<br>(千円) |
|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 平均<br>利用者数 | 月間<br>訪問件数 | 年間<br>訪問件数 | 月間<br>訪問件数 | 年間<br>訪問件数 |             |
| 61         | 269        | 3222       | 151        | 1815       | 20,152      |

## 6. 居宅介護支援事業所 多摩川苑

常勤5名と2名の非常勤で合計7名のスタッフで、今年度は最終的に200名ほどの利用者を担当することになった。入所や入院、死亡者もあり、終了者が多くある中で、徐々に利用者を獲得できたと思う。特定事業所として数多くの勉強会を開催し、ケアマネのスキルアップを図った。コロナ禍で他事業所と事例検討会が開催できなかったが、会議や研修受講にはリモートを活用した形をとった。

今年度は、包括や市にも参加していただいた地域ケア会議もあり、各ケアマネもスキルアップできた。しかしながら、ケアマネの資質を問われることがあり、いかに人材育成が難しいかを再考した年でもあった。次年度も週に1回のケアマネ会議（利用者の状況を報告し、事業者内で共有する会議）、月に1回の居宅会議（施設長、総務課長へ進捗状況を報告）、勉強会（各ケアマネがテーマを決めての発表や事例検討）は引き続き実施し、各人の支援技術の向上に努めていく。

| 年間請求件数 |     | 平均単価（円） |       | 訪問調査<br>年間件数 | 訪問調査単価<br>(円) | 総収入<br>(千円) |
|--------|-----|---------|-------|--------------|---------------|-------------|
| 介護     | 予防  | 介護      | 予防    |              |               |             |
| 2,044  | 329 | 16,570  | 4,355 | 39           | 171,600       | 35,354      |

## 7. 日野市地域包括支援センター 多摩川苑

新型コロナウイルス感染症拡大という中で、試行錯誤した一年でした。前年度から課題を含め、緊急事態宣言などにてより地域や人との繋がりが薄くなっていったことでそれぞれが閉鎖的な暮らしを余儀なくされていた。緊急事態宣言が解除された下半期は、閉鎖的な状況下にいた高齢者の方々の身体機能の低下や、認知症状や精神症状の悪化などから、介護保険の申請や介護サービスの利用の相談などが急激に増えた。

個人と地域との繋がりも希薄となり、地域の見守り力も弱体化の一途をたどっていた。そこで多摩川苑にて行っていた、「わんわん見守り隊」と「たまっと見守り隊」のあり方を見直し、一つの組織として「わんたま見守り隊」として新たな出発をする為に、関係者と共に話し合い、ネットワークの再構築を行う事で、個人と地域との架け橋になると考え、令和4年度よりスタートできるように準備を行った。

また、昨年からの課題だった「オンラインでの交流」等については、ZOOMを利用して「たまカフェ」を開催。今回は音楽で繋がるイベントとして開催し、地域で暮らす認知症の当事者や、支えるご家族や、支える地域の方々が交流した。当日は会場と自宅からの参加のハイブリッド方式を採用、今迄お会いした時と違い、画面越しでの交流もとても和やかな雰囲気での話しができた。参加者からは今後もオンラインでの交流会を広げて欲しいとの声と、対面での交流もしたい等との声も聞かれた。

令和4年度もこの様な活動は継続しながら、ネットワークの再構築を加速させる取り組みに力を入れ、もっと地域の方々に多摩川苑の存在を知って頂き、高齢者の方々に住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、多摩川苑地域のハブとして活動を展開していく。

| 年度 | 受託収入（千円） | 指定介護<br>予防プラン<br>（件） | 総合事業<br>（件） | 委託件数（件）<br>総合事業含む | 総収入（千円） |
|----|----------|----------------------|-------------|-------------------|---------|
| R3 | 31,540   | 1,613                | 928         | 796               | 40,626  |
| R2 | 30,487   | 1,431                | 943         | 829               | 38,344  |



## 8. グループホーム たまだいら

今年度はサービス計画書作成にあたっては、上半期はケアマネジャーだけではなく介護職員も参画して PDCA サイクルを定着させることを目標にしていた。しかし、新しい取り組みで不慣れなことから予定していた作業に遅れが生じることがあった。

下半期は、作業状況を改善しながら個々のプランや記録にも着目したが内容に差がみられた。ただ、改善に向けてミーティングで情報共有を図ることで様々気づきを得ることができた。PDCA サイクルの確実な実施と標準化が課題である。

感染拡大によって減っていた余暇活動は徐々に増え、職員全体にも活動をするというマインドに変わっていったが、外出（散歩など）の機会が少なかった。下半期に買い物を中心とした外出の機会を増やすことを目指したが、感染拡大によるまん延防止等重点措置や3回目のワクチン接種も重なり、様子を見ることになってしまった。

今後も感染拡大と収束は繰り返すと思われるなか、外出を中心に活動の機会を工夫して増やしていくことが課題である。

| グループホームたまだいら  | R3        | R2        |
|---------------|-----------|-----------|
| 利用定員          | 9 名       | 9 名       |
| 利用者数（延べ）      | 3,245 名   | 3,285 名   |
| 1 日平均利用者数     | 8.8 名     | 9.0 名     |
| 稼働率           | 95.4%     | 98.3%     |
| 稼働日数          | 365 日     | 365 日     |
| 年間平均介護度       | 2.9       | 2.8       |
| 単価（1 人 1 日当り） | 15,073 円  | 15,138 円  |
| 総収入           | 48,913 千円 | 49,728 千円 |
| 職員数（常勤換算）     | 7.3       | 7.5       |



## 9. 小規模多機能ホーム みなみだいら

今年度は、3つの柱を立てて実践した結果、1つめの稼働率は、28.7件と毎月ほぼ29件を維持する事ができた。職員の意識改革に力を入れ、「自分たちの食い扶持は自分たちで稼ぐ」という意識を持ち、稼働率や常に新規利用者を受け入れる体制を構築した結果である。2つめの地域活動においては、防災訓練と地域を結びつけた活動を行った。年3回避難訓練を実施し、地域住民、利用者家族にも参加して頂いた。地域との関わりを通じ、地域のサロンにも定期的に参加する等、仕組み作りにも取り組んだ。職員と地域住民の名字を呼び合う関係のみならず、利用者と地域住民が顔なじみの関係性を構築する事ができた。3つ目の物づくりから販売まで至ったケースでは、認知症や介護度があっても介護保険施設を利用していようとも、どのような状態であっても「働く」という事をテーマに、いつまでも社会活動ができる仕組み作りを行った。

また、職員の意識改革にも踏み込んだ。どのような状態でもやり得る事、根拠に基づくケアの実践、主体的に動ける人材育成等と絡めて実践した。作った商品を薬局、卓球場、サロン、クリニック等、様々な場所で置かせて頂ける事ができ、売上を作る事ができ、利用者に還元した。働く意欲が湧くようにする事は次年度の課題になった。

立てた目標はどれも難易度は高かったが、概ね達成する事ができた。

| 小規模多機能ホームみなみだいら | R3       | R2      |
|-----------------|----------|---------|
| 登録定員            | 29名      | 29名     |
| 通所利用者数（延べ）      | 5,376名   | 4,940名  |
| 通所利用者数（1日平均）    | 14.7名    | 13.5名   |
| 宿泊利用者数（延べ）      | 1,863名   | 1,280名  |
| 宿泊利用者数（1日平均）    | 5.1名     | 3.5名    |
| 訪問利用者数（延べ）      | 10,156名  | 10,400名 |
| 訪問利用者数（1日平均）    | 27.8名    | 28.4名   |
| 登録者年間平均介護度      | 2.7      | 2.8     |
| 平均単価（1人1日当り）    | 6,258円   | 5,981円  |
| 総収入             | 108,875円 | 99,405円 |
| 職員数（常勤換算）       | 15.0     | 14.2    |

## 10. 小規模多機能ホーム さかえまち

今年度は、介護職員がスキルアップすることにより、主体的に様々なアイデアが生まれ、チームケアが有効に機能し、利用者の自立支援につなぐことを目標に取り組んできた。結果としては、全職員にご利用者・ご家族へモニタリングを説明する機会を設けることはできなかった（人員不足のため）が、職員一人一人が、自身が担当するご利用者に対し、理解を深めることは出来てきたことにより、職員全体会議にて、他職員へ担当ご利用者についての状態等様子の変化や必要な支援について提案することができるようになった。

今後、ご利用者・ご家族に対し、ご利用者の事業所での様子、変化を伝える機会を業務時間内に設けることや、在宅生活を長く継続する為に、ご利用者・ご家族の自立支援に繋げていくことが課題と考える。

職員の内部研修参加を定着させることを目標としてきたが、職員の研修参加は両極端に分かれてしまった。内部研修、外部研修共に参加し、自らの知識を増やす意識付けを行っていく。

職員のアイデアや気づきを職員全体会議にて共有し、活かす取り組みを行ってきたが、日頃の小さなアイデア、気づきを話し合う時間を設けることが出来なかった。チームケア・チーム連携を強化するため、日頃に小さなアイデアや気づきを話合える時間を業務内で作ることが課題と考えている。

| 小規模多機能ホームさかえまち  | R3        | R2        |
|-----------------|-----------|-----------|
| 登録定員            | 29 名      | 29 名      |
| 通所利用者数（延べ）      | 4,095 名   | 3,923 名   |
| 通所利用者数（1 日平均）   | 11.2 名    | 10.7 名    |
| 宿泊利用者数（延べ）      | 826 名     | 686 名     |
| 宿泊利用者数（1 日平均）   | 2.2 名     | 1.8 名     |
| 訪問利用者数（延べ）      | 4,952 名   | 3,619 名   |
| 訪問利用者数（1 日平均）   | 13.5 名    | 9.9 名     |
| 登録者年間平均介護度      | 2.7       | 2.6       |
| 平均単価（1 人 1 日当り） | 8,491 円   | 9,782 円   |
| 総収入             | 83,834 千円 | 80,494 千円 |
| 職員数（常勤換算）       | 12.2      | 11.7      |



## 11. 東京都多摩若年性認知症総合支援センター

新規相談件数はほぼ例年並みであった。人口比に対して八王子市の相談件数が少ないことを課題として上げ、関係機関にリーフレットを送るなど対策を講じた。しかし令和3年度は更に八王子市の相談件数が減少したことから、周知方法を見直し、対策を部門目標として掲げることとした。

都からの委託事業である自治体職員・地域包括支援センター職員を対象とした「若年性認知症相談支援研修」は予定通り、基礎はYouTube配信、ステップアップはリモートにより開催し、合わせて120人の参加があった。

同じく「ピアサポーターによる本人支援」を年間通して6回開催し、延べ23人の当事者が参加した。お互いに物忘れに対応した工夫などの情報共有や、今後の希望などを述べあった。中には若くして認知症となりずっと孤独を感じていたが、自身と同じ病気の人に会えたことで励まされたと述べる相談者もいた。「ピアサポーターによる本人支援」はニーズが高く、令和4年度も複数回の開催を予定している。

同じく都からの委託事業「若年性認知症支援地域連絡会」は相談件数が伸び悩んでいた町田市にて開催した。町田市の地域包括支援センターの協力を得ながら開催し、多数の関係機関と顔が繋がる場となった。一方その後町田市は独自で市民団体に若年性認知症支援の受け入れ窓口を依頼した。今後当該窓口との連携が必要である。

委託事業以外の独自の取り組みとして若年性認知症の当事者を介護する配偶者の家族会6会、親を介護する子どもの会を2会開催した。

若年性認知症の再就職支援については、年度内に2人を再就職に繋げることができた。

その他研修講師派遣25回、認知症疾患医療センター平川病院と共催の市民向けの講演会を開催し、若年性認知症の周知・啓発に務めた。

このように通常の相談業務に加え、精力的に付随した支援や活動実施により年度を終えた。令和4年度もこれらの活動を継続すると共に、活動内容を内外に発信することで、若年性認知症の支援方法の周知を図りたい。

| 総収入          | 職員数   | 相談者実数 | 相談件数<br>(延べ数) |
|--------------|-------|-------|---------------|
| 26,126,000 円 | 2.4 人 | 173 件 | 2,878 件       |

## 12. 地域公益活動

### (1) 配食サービス

当施設で実施している配食サービスの特徴

- ① 日野市社会福祉協議会からの委託により、管理栄養士および調理の専門職が、施設の厨房機能を最大限活かして調理を行い、地域に提供している。  
食事内容については好評を得ており、食事内容に対する苦情はほぼ無い。
- ② 嚥下に配慮した食形態にも柔軟な対応を行っている。
- ③ 配達を担当しているスタッフは施設近隣の方が担っていたが、今年度よりパートスタッフへ移行。全て市内近隣の方なので配達地域の事情に明るく、地域住民との人的な繋がりもある。そのため受け取る側も安心して困り事などを話し、食事を受け取ることが出来ている。
- ④ 配食の重要な役割である安否確認について、年間5～7件ほど救急対応に繋げることが出来ており、ご家族からも感謝されている。
- ⑤ 今年度より日野市社会福祉協議会からの委託で、産後期の忙しい方へ昼食を2か月間お届けするサービスを開始した。受託件数は未だ少ないが、社会とのつながりが少なくなる産後の方への安否確認もかねて実施している。
- ⑥ 配食サービスは好評を得ているため、委託数は常に配達可能数の上限である。そのため新規をお断りせざるを得ないこともあったため、今年度体制変更を行った。今までのボランティア制からパートスタッフへと移行、新たにパートスタッフを数名雇用し事業を継続している。

| R2  | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月                   | 2月                    | 3月                    | 合計                     |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| 配食数 | 1,832 | 1,857 | 1,798 | 1,797 | 1,725 | 1,654 | 1,723 | 1,728 | 1,751 | 1,448                | 1,373                 | 1,563                 | 20,249                 |
| R3  | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月                   | 2月                    | 3月                    | 合計                     |
| 配食数 | 1,501 | 1,478 | 1,435 | 1,482 | 1,444 | 1,452 | 1,418 | 1,394 | 1,394 | 1299<br>(10)<br>(産後) | 1,292<br>(16)<br>(産後) | 1,450<br>(16)<br>(産後) | 17,039(<br>42)<br>(産後) |



## (2)あったカフェ（認知症カフェ）

令和2年2月を最後にコロナウイルス感染拡大に伴い休止していた。しかし地域から再開を望む声が多数寄せられたことから、地域包括支援センターせせらぎの協力を得ながら再開に踏み切った。月1回第三水曜日午前のみ実施。日野市のオレンジ広場にも位置付けられている。

以前のように自由に参加できるカフェは感染症のリスクが高いため、参加者を限定して開催した。中止していたコーヒーの提供も途中から再開した。ボランティアが中心のカフェであり、ボランティアの意見を聞きながら継続している。

令和4年度は感染対策を講じながら、段階的に地域の介護者家族や認知症の人などが自由に入館できる体制を整える予定である。

| 参加者    | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計   |
|--------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 地域の人   | 6  | 4  | 2  | 2  | 6   | 8   | 2   | 0  | 0  | 3  | 33人  |
| 小多機利用者 | 0  | 3  | 3  | 5  | 5   | 5   | 3   | 3  | 3  | 5  | 35人  |
| ボランティア | 4  | 5  | 5  | 5  | 5   | 4   | 5   | 5  | 5  | 5  | 48人  |
| 関係機関職員 | 6  | 6  | 5  | 4  | 6   | 7   | 5   | 5  | 6  | 5  | 55人  |
| 合計     | 16 | 18 | 15 | 16 | 22  | 24  | 15  | 13 | 14 | 18 | 171人 |

## VII地域密着型複合施設 マザアス新宿

### 1. 令和 3 年度総括

今年度は特養での死亡による退所が多く特に 2 月、3 月では一時 6 名の空所が発生した。年間を通じて 30%弱の退所率となり、新規入所者の受入の困難もあり、結果収支にも大きな影響を及ぼすと事となった。

職員の離職もあり、人事管理上苦勞することとなった。離職率全体では 14.5%、介護職員では 17.0%となり、過去数年との比較では低くなっているが、現場での対応は大変であった。新規入職では面接者は多かったが、受入には慎重を帰した。今年度は紹介業者を通じての採用をストップする方針で臨んだ一方、外国人の採用には積極的に対応し、特定技能者の採用を数名行った。また常勤看護師 1 名の退職を機に、新たに 3 名のパート看護師を採用し、介護現場の介護者不足を補っている。看護師は現在常勤 2 名、パート看護師 5 名となっている。

令和 3 年度重点課題について、下記に報告する。

#### 1 新型コロナウイルスを施設に発生させない

施設内における感染対策は臨機応変に会議を持ち情報の共有を図ってきた。行政側の政策に乗り、PCR 検査を週 1 実施し、ワクチン接種を利用者及び職員全員に 3 回目を実施することが出来た。また感染対策委員会を通じてやるべき予防対策は実施してきたが、1 月に入り小規模多機能で職員 2 名が陽性となり、続いての検査で利用者 5 名の陽性者が判明、更に職員 1 名が感染者となった。保健所との相談の結果、施設としては多機能の一部を閉鎖したが、1 月末日には正常な運営に戻ることが可能となった。このことを踏まえ、感染拡大を防ぐために、ショートステイを一時閉鎖した。また特養の新規入所にも影響がでた。その後、特養で入所者 1 名が感染し、入院の処置をし、数日で退院した。その後施設全体では職員の感染はあったが、入所者、利用者への感染は発生していない。成果指標からは B とした。

#### 2 収支均衡をはかる

結論的には資金収支計算書、事業活動計算書においてプラスを達成したが、内容的には十分な成果を得ることが出来なかった。資金収支上では前年に引き続き福祉医療機構の借入金返済猶予をお願いした。また介護現場で必要であったナースコール設備の買い替え（約 5 百万円）が収支上の関係で長年実現できなかったが、今年度はそれを実現した。それらを考慮すると新宿独自で借入金の返済までには至らなかった。改めて独自での返済は難しい事を知らされた。1 月末までは両計算書において 1 千万円程のプラスとなっていたが、2 月、3 月で退所者が相次ぎ収益が大幅に

悪化した。事業費及び事務費の5%削減は数字上実現できなかったが、内容的には光熱費の増、厨房の増、手数料の減を考慮すると実現できたとも言えよう。拠点全体では収益の前年度比7百万円増、人件費の前年度比1千万円減が合計でのプラス要因となった。成果指標ではBとした。

### 3 生産性の向上に取り組む

2040年問題を考えるときに、介護業界においても生産性向上への取り組みは避けて通れない大きな問題である。単年度では対応できない計画のため、今後複数年計画で取り組む課題としている。厚労省発行の「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」を参考に運営会議で動画を見、取組の必要性の学びから入り、その後3Mのムリ、ムダ、ムラの抽出を各事業所単位で実施し、具体的な取り組みを事業所単位で始めた。その後担当者を決め、経費の削減の一環として光熱費などの使用量を見える化した。しかしコロナ（換気）やその後のガソリン等の値上がりにより、単価が大幅に増える光熱費の削減は実現しなかった。次年度への継続取組については新施設長に移管したいと思う。成果指標はBとした。

## 2. 地域密着型特別養護老人ホーム／ショートステイ

コロナ禍でもできるユニット行事や余暇支援の実施については、季節の行事（お花見、紅葉狩り、クリスマス会、節分等）は、全ユニット共通の内容でそれぞれのユニットで行い、それ以外の月は、各ユニットで入居者に合わせたユニット行事の余暇支援を考えて実施した。各ユニットで月に1回余暇支援を実施し、その都度ブログに様子をアップした。

ユニット行事では、食事やおやつを作る余暇支援が多かったが、入居者はとても喜ばれていた。外出支援は、人が少ない時間帯を選び、お花見や紅葉狩りを実施した。室内での生活が多いので、久々の外出で普段眠っていることが多い方でも目をしっかり開け、笑顔がみられていた。楽しみのある生活は送れていたように思う。

ブログを毎月アップすることで、面会に来られず日々の様子が分からないご家族に、施設での生活の様子を見てもらった。

面会については、4月～10月窓越し面会を実施し、10月～リモート面会を窓越し面会と併用して行った。感染者減少に伴い、11月～12月は窓越し面会の代わりにアクリル板越しの直接面会を実施したが、1月に入ると感染者急増のため、直接面会は中止となり、窓越し面会も季節柄中止とした。3/14からは陰圧装置を使用し、ビニールシート越しの面会を再開した。10月以降は、リモート面会を実施していたが、利用する方が1家族のみで、その方が2月中旬に退所となって以降、リモート面会の利用はなく、2月から3月中旬まで面会が継続できなかった。

来年度も、コロナの影響が続き、施設内での生活が今後も続いていくものと思われるが、引き続きコロナ禍でもできる余暇支援やユニット行事などを行い、楽しみのある生活を送れるように支援していきたいと思う。また、面会は継続できるよう色々な形を模索していきたい。

令和 3 年は日本ではデルタ株と言われる新型コロナウイルスが全国的に蔓延した。マザアス新宿では令和 3 年（5 月下旬から 7 月初旬にかけて）希望する全利用者・全職員に対して感染予防・重症化予防のため、新型コロナワクチンの接種を 1 回目・2 回目速やかに実施し、また、面会制限や PPE（個人防衛具）の使用による適切な感染対応を実施することにより、デルタ株が世間的に流行した際にも施設内での感染者の発生はなかった。令和 3 年の年末にかけて、オミクロン株の感染が急速に拡大してきたため、令和 4 年 1 月（1/20・1/27・12/3）に 3 回目の新型コロナウイルスのワクチン接種、いわゆるブースター接種を当初の予定を 2 か月程前倒しして実施した。しかし、2 月初旬に特養 4F のご利用者 1 名が新型コロナウイルスに感染した。（その利用者様はワクチン接種を希望せず、1 回も接種を行っていない未接種状態であった。）当初目標に掲げていた『入所者に新型コロナウイルス感染者を発生させない。』という最上位の目標は達成できなかったが、デルタ株では感染者を発生させることなく、極めて感染力の強いオミクロン株では感染者が 1 名発生した（そのご利用者は肺炎を併発し、救急搬送され、入院となったが、完治し施設に戻ることができた）が、迅速で適切なゾーニングや感染の疑われる職員に自宅待機期間を設けたことにより、ご利用者 1 名のみの感染で収束し、その他のご利用者・他のユニットや他のフロアに感染を拡大させることはなく、また、クラスターも発生させることなく感染を抑え込むことができた。施設内に感染者は発生したが、死亡者を 1 名も出ることなく、クラスターも発生させることがなかったため、成果指標の B に相当するものであったと考えている。

調理レクは栄養士とユニット（朝顔）が共同で企画準備を行ない、数回の調理レクを実施することができた。しかし回数についてはまだまだ不足であるため来年度も継続して実施していくとともに、調理師もユニットでの調理レクが出来るよう指導していくことを今後の課題とする。

栄養課 MTG については毎月行うことは出来ていないが、以前よりは増やすことができた。引き続き定期的に MTG を開催し、全員が日々の業務での疑問点・課題等を見つけて問題提起や、お互いに意見交換できるよう環境整備に努めていきたい。新たに非常勤職員を迎えるため、現在在籍職員それぞれが業務での良い姿を示し、手本となれるように努めていく。

ショートステイに関しては、年間平均稼働率の目標が大きく及ばなかった。要因としてはご利用者がコロナウイルスに感染し、8 月と 1 月中旬～2 月中旬までサービス休止



したこと並びにショート利用を控えたり、利用そのものを止めた方がいたりしたことが挙げられる。

各専門学校から実習生を受け入れ、アルバイトやマザアスに就職する学生を増やすことについては、営業で挨拶に行った専門学校よりアルバイト1名が来てくれたが、目標の2名には達成できなかった。

昨年度は、特養の退所者が例年と比べ倍近くと多く、特養の新規面接とショートステイの新規面接の併行が難しかった。相談業務そのものを整理して新規面接に集中できる環境を作ることが重要と感じた。

|               | 2021 特養    | 2020 特養    | 2021 ショートステイ | 2020 ショートステイ |
|---------------|------------|------------|--------------|--------------|
| 利用定員          | 29 名       | 29 名       | 3 名          | 3 名          |
| 利用者数（延べ）      | 9,937 名    | 10,002 名   | 708 名        | 561 名        |
| 1 日平均利用者数     | 27.2 名     | 27.4 名     | 1.94 名       | 1.53 名       |
| 稼働率           | 93.8%      | 94.5%      | 62.9%        | 51.31%       |
| 稼働日数          | 365 日      | 365 日      | 365 日        | 365 日        |
| 平均介護度         | 4.33       | 4.5        | 3.88         | 3.71         |
| 単価（1 人 1 日当り） | 17,667 円   | 17,784 円   | 15,213 円     | 15,512 円     |
| 総収入           | 175,397 千円 | 177,879 千円 | 10,772 千円    | 8,702 千円     |
| 職員数（常勤換算）     | 17.3 名     | 17.4 名     | —            | —            |

### 3. 小規模多機能ホーム さくら

今年度の取り組みについては、前年度から続くコロナ禍の中でも安定して継続できる e-ラーニングの本格導入が目的だった。

今期間では、職員（ユニットリーダー）を主体に使用するウェブサイトの選定からスケジュールリング、実際の運営までを任せて進めたが、結果として対面式で行っていた従来の内部研修よりも、より多くの職員が研修を受講する事ができた。また、今回は研修受講後の報告書を従来の「報告書」という形ではなく「小テスト」という形で職員には提出してもらっていたが、この形も職員の理解力・習得力を知る良い機会であったと考える。

今期間においては、あくまで e-ラーニングによる継続的な研修の実施が目的であった為、研修のプログラム内容についてはかなり基本的な介護に特化したが、この研修の形に職員が慣れるにつれ、内容をより高度なものに変化させていく事は可能であると感じている。

もう一つの改善計画であった「収支改善」については、今期間では指標として介護保険収入のみの目標として数値設定をしていた。令和 4 年に入ってから、ご逝去など退所が続いたが、大久保や若松の高齢者総合相談センターに空き状況について適宜連絡をしていた事もあり、年間で¥71,654,154 と目標としていた¥70,000,000 を超える事ができた。

| 小規模多機能ホーム     | 令和 3 年    | 令和 2 年    |
|---------------|-----------|-----------|
| 登録定員          | 29 名      | 29 名      |
| 平均登録者数        | 24.4 名    | 23.8 名    |
| 通所利用者数（延べ）    | 3,993 名   | 4,083 名   |
| 通所利用者数（1 日平均） | 10.9 名    | 11.2 名    |
| 宿泊利用者数（延べ）    | 1,492 名   | 1,288 名   |
| 宿泊利用者数（1 日平均） | 4.1 名     | 3.5 名     |
| 訪問利用者数（延べ）    | 3,492 件   | 4,252 件   |
| 訪問件数（1 日平均）   | 9.6 名     | 11.6 名    |
| 登録者平均介護度      | 2.2       | 2.2       |
| 1 人 1 日当り収益   | 8,895 円   | 8,579 円   |
| 総収益           | 80,516 千円 | 74,525 千円 |
| 職員数（常勤換算）     | 11.7 名    | 13.8 名    |
| 離職率           | 14.2%     | 0.0%      |

#### 4. グループホーム つつじ

長引くコロナ禍において、地域交流や外出の機会が大幅に減少し、季節感を肌身で感じにくくなっていた。そのため、ホーム内にいても季節を感じられる活動や環境作りを行うことを目標とした。前年度よりも計画的に季節ごとの園芸や壁飾りの工作、食事作り等を利用者と職員とで協力して行うことができている。

次年度は、花や野菜などの生育に触れ、季節を感じながら世話する楽しみを日常に取り入れていく活動を行いたい。また、毎月の季節活動を各職員で分担し、より計画的に実行できるようにしていきたい。

フロアまで入っての面会が出来ず、ご家族や地域住民から日頃の活動の様子が見えにくい。日頃の活動状況が見えるよう、法人ホームページのブログを月 2 回程度の更新を行い、情報発信することに努めた。

お看取りについては、3 名をお見送りすることが出来た。デルタ株の流行期では入国制限がかかり、ご家族との面会方法について熟慮の末、対応する状況があった。

通常の面会は、新型コロナウイルスの地域の感染拡大状況を見ながら中止することも多かったが、窓越し面会など安全な方法を模索・実施をしている。

第三者評価についてはオンラインでの受審となった。慣れない状況下で、やりとりに手間取ることもあった。今後も外部研修含め、オンラインで行われるものが増えると考えられるため、手続きや受講環境の整備などに配慮したい。

| グループホーム     | 令和 3 年    | 令和 2 年    |
|-------------|-----------|-----------|
| 利用定員        | 18 名      | 18 名      |
| 利用者数（延べ）    | 6,355 名   | 6,153 名   |
| 1 日平均利用者数   | 17.41 名   | 16.85 名   |
| 稼働率         | 96.72%    | 93.63%    |
| 稼働日数        | 365 日     | 365 日     |
| 平均介護度       | 3.03      | 3.17      |
| 1 人 1 日当り収益 | 14,900 円  | 15,126 円  |
| 総収益         | 94,685 千円 | 93,075 千円 |
| 職員数（常勤換算）   | 15.2 名    | 15.2 名    |

